京城日報

市内版

田中總裁に席を讓れに [illegible]

日本奴隷史

阿部弘臧著（最新刊）

碩學阿部先生が二十年心血を注いで細心精緻なる研究を大成せられたる千載不朽の名著！

日本社會史の研究は一面亦日本奴隷史の研究にして、本邦奴隷の研究は實に斯學に於て最大なる地位を占む。本書は阿部弘臧氏が現代の [illegible] 奴隷の起原と變遷とを説明し [illegible]（索引附）

◇四六判 [illegible] 頁 ◇定價參圓七拾錢 ◇送料二十四錢

キャナン 分配論

渡邊一郎譯（最新刊）

本書はエドウキン・キャナン博士の著にして、十八世紀より十九世紀の前半に至る英國經濟學者の生産及び分配に關する思潮の研究なり。然れども内容は唯に史的解説に止まらず、批判的解決を與ふる點に於て [illegible] 其の謬誤を… [illegible] キャナン博士の分配論に相當す。（索引附）

◇菊判四〇五頁 ◇定價貳圓九拾錢 ◇送料二十四錢

日本のゼーシー・ヘボン博士

山本秀煌著（最新刊）

一世の名醫 [illegible] ヘボン博士 [illegible]（参考史料附錄）

◇四六判上製 ◇定價壹圓五拾錢 ◇送料十二錢

國民教育の諸問題

アルナチャルスキイ著　尾瀬敬止譯（最新刊）

新しき教育の指針である本書は日本の一般教育家及び社會學研究家諸氏の好資料ならん

ロシヤ革命は單に政治と經濟との革命ではなく、それは同時に教育の革命でもあつた。本書は現文部の大臣たる著者が、最近に教育又は諸 [illegible] の教育施設に比較して最も [illegible]（補遺・索引附）

◇四六判上製 ◇定價壹圓九拾錢 ◇送料十二錢

最新ロシヤ文學研究

ロガチェフスキー著　井田孝平譯（最新刊）

現代文學の潮流に不思議な色と光を與ふるロシヤ文學は、現在も將來もますます研究されねばならぬ本書の著者リウオフ・ロガチエフスキーは、このロシヤ文學の主流の方向に新しい觀察をほどこし、マルキシズムの尺度に依りその深度を測りやかに注ぎ入つた大海の水をも見透さんとするものである。[illegible]（索引附）

◇四六判上製 ◇定價貳圓貳拾錢 ◇送料十二錢

發行所　東京四谷新宿一丁目　電話四谷 [illegible]　振替東京五六一四七　圖書目錄進呈　聚芳閣

アッシジの聖フランシスの生涯

最新刊　七百年祭記念の出版

文學博士姉崎正治　海軍少將山本信次郎　監修　カスバート師著　深山衞夫譯

キリストより以後、最もキリストに似たる人よばれたアッシジの聖フランシス [illegible]

◇布製美本 ◇定價金貳圓貳拾錢 ◇送料金十八錢

日本人の鮮血遺書

最新刊　世界歴史上の一驚異

文學博士姉崎正治　海軍少將山本信次郎　監修　ヴィリヨン著

切支丹の殉教は、世界歴史上の驚異である。[illegible]

◇布製美本 ◇定價金壹圓九拾錢 ◇送料金十八錢

東洋史觀

最新刊　叙述精細にして餘蘊なし

新潟高等學校教授　文學士鳥山喜一著

著者鳥山文學士は、斯學研究の大家として世既に定評ある士である。殊に著者は、渡支すること數回に及び、支那の古蹟を探究し、之れが記錄を積む事山の如く、遂に之れを蒐集編述して、遂に玆に東洋史觀と題して公にせられる。[illegible]

◇布裝全一冊 ◇定價金四圓八拾錢 ◇送料金十八錢

西洋史綱

石野㤭著

◇定價金參圓六拾錢 ◇送料金十八錢

米國膨脹史

市村清次郎著

◇定價金參圓五拾錢 ◇送料金十二錢

高等金利計算學

横濱高等商業學校教授　小幡孫二著

今や經濟の方面にも財政の方面にも、數學的取扱が盛である。この時に當つて本書の出づる亦自然であらう。[illegible]

◇布裝全一冊 ◇定價金貳圓八拾錢 ◇送料金十八錢

新編商業算術

最新刊　企業家諸賢の必讀書

小野十郎著

◇定價金參圓八拾錢 ◇送料金十八錢

陸象山の哲學

最新刊　萬古不磨の一大名著

三島復著

吾が孔夫子二千四百年祭の學行せられて、その萬古不磨の大道が、今更ながら一部世人を驚省せしめたる時、その孔子教中の一賢人、而して孔夫子その人に配祀せられたる宋の陸象山の研究を發表する。[illegible]

◇布裝全一冊 ◇定價金貳圓參拾錢 ◇送料金十二錢

圖書目錄申込次第進呈　東京日本橋本銀町（振替東京二八〇）　大阪市西區阿波堀（振替大阪四三）　寶文館

現代日本文學全集

豫約募集

内容見本御申込次第進呈　締切十一月卅日

壹圓

本全集の誇る特色

（一）本全集は實に萬卷の文藝書に優る。
（二）總額一千圓の内容のものがたつた一圓
（三）瀟洒な新式の裝幀で書齋の一美觀。
（四）内容の充實普通版の四萬頁に相當一冊千二百枚以上。
（五）明治大正の不朽の名作悉く集る。
（六）菊判六號活字三段組總振がな付の最新式編輯法。
（七）全日本の出版界は其安價に眼を圓くす。
（八）本全集あれば一生涯退屈しない。

怒濤の如き反響

德富蘇峰氏激賞

山本兄―貴兄の奮進直前は實に痛快に存じ候。[illegible] 蘇峰老人

後藤新平子曰く

各家庭に於ける新興文化展覽會を開き [illegible]

幸田露伴博士曰く

[illegible]

末弘嚴太郎博士曰く

[illegible]

東京女子高等學院長 人見東明氏曰く

[illegible]

三宅雪嶺氏

[illegible] 百萬部計畫には驚きにけり

賀川豐彦氏曰く

文學の民衆化は、改造運動の先驅をなすものだ。文學は、民族の魂を物語る。それは民族の血脈に流れる、熱き火の噴火口そのものだ。[illegible]

正宗白鳥氏

[illegible]

室伏高信氏曰く

[illegible]

堀江歸一博士曰く

私は初號から十八九號までが特に讀む [illegible]

個別訪問戰今將に酣なり

團體申込殺到

各學校、青年團、銀行、會社、病院、工場、官廳、家庭より數十部乃至數百部の申込續々殺到す。全く本邦出版界始めての盛觀です。かかる現狀故申込順によりて配本す

内容一斑

第一篇　明治開化期文學集
第二篇　坪内逍遙集
第三篇　森鷗外集
第四篇　德富蘆花集
第五篇　三宅雪嶺集
第六篇　尾崎紅葉集
第七篇　硯友社派その他
第八篇　幸田露伴集
第九篇　北村透谷集・樋口一葉集
第一〇篇　二葉亭四迷集
第一一篇　正岡子規集
第一二篇　德富蘇峰集
第一三篇　高山樗牛集　附姉崎嘲風・笹川臨風
第一四篇　泉鏡花集（大正十七年下半期配本）
第一五篇　國木田獨歩集
第一六篇　島崎藤村集
第一七篇　田山花袋集
第一八篇　德田秋聲集
第一九篇　夏目漱石集
第二〇篇　上田敏集・厨川白村集・阿部次郎集
第二一篇　正宗白鳥集
第二二篇　永井荷風集（交渉中）
第二三篇　岩野泡鳴集・近松秋江集・上司小劍集・小川未明集
第二四篇　谷崎潤一郎集
第二五篇　志賀直哉集
第二六篇　有島武郎集
第二七篇　武者小路實篤集
第二八篇　長谷川如是閑集・中澤臨川集・島村抱月集・生田長江集
第二九篇　里見弴集・佐藤春夫集
第三〇篇　芥川龍之介集・久米正雄集
第三一篇　菊池寬集
第三二篇　歴史小説・少年文學集
第三三篇　社會宗教論集
第三四篇　新聞文學集
第三五篇　名作戲曲集
第三六篇　美文・紀行文・寫生文集
第三七篇　詩歌・俳句集

豫約規定概要

頒布方法　大正十五年十二月第一卷刊行第十二卷迄は毎月一冊づつ第十三卷より第卅六卷迄は毎月二冊づつ大正十七年十二月第卅七卷一冊を刊行完結す

體裁及裝幀　六號活字三段組總ふりがな附菊判紙裝。但希望者には特製布製（天金洋裝美本）印刷鮮明

紙數及紙質　毎卷平均約三百頁。王子製紙別誂上等印刷紙

會費　（一）毎月拂一冊に付一圓（二）全拂（卅七冊分）卅四圓（特製）は一冊に付並製の四十錢增

送料　並製一冊に付十錢　特製十四錢、希望者附布函の向は別に十錢增

申込金　（一圓最終卷に充つ）

發行所　東京芝區愛宕下町　振替東京八四〇二　改造社

京城日報

花の日會と婦人の力

一

本紙創刊廿周年記念事業として京城府内の北婦人團體が主體となり、盛大に催された朝鮮最初の「花の日」會の舉措は、各方面から異常なる好感を以て迎へられその總收入金一千五百九十余圓をあげて、府内の孤兒保育事業資金の中に寄附することゝなつた。收入金の總額は甚だ僅少なりと雖も中流以上の家庭における婦人四百余名が街頭に出動して行人に愛の花を驚き、即ちその愛き勞務に酬ひられた收入金が、はじめて發露の慈善に寄附されたものであつて、しかも數多を距にして、一層愛情の情を充す孤兒等の上に、あたゝかき慰藉が施さるゝのを想ふ時にわれらは無上の歡喜を禁ずる能はぬのである。

二

愛の花は凡そ二萬個を用意したが、花の日會の趣旨が漸く普及さるゝや、内鮮各方面から同情翕然として集り、本社は止むなく敷花數千個の補充を圖つたほどである。その花も全く各團體所屬の婦人四百余名が、僅々二時間の活動によつて、その全部を買盡くし、婦人運動として初めての試みである慈善事業が達成されたのである。永く「見られざる婦人」として、世界的に唱へられたほど、因襲の久しく、内房に閉籠つてゐた朝鮮婦人が、今回は率先して街頭に現れ、花の日會の事業に參集された一事は、確に朝鮮の公益事業と婦人運動の上に、一新紀元を劃したものとして特筆揚揚したい。

三

由來婦人運動といへば直に或は參政權獲得に、新職女性の特殊な活動に想到するが、これ等はいづれも一般家庭婦人の行ひとしては容易に是認されべくもない。しかしてその多くは急進的に時代思潮にかぶれ、社會人を氣取つた矜持もならぬ異感に堕し、たまく社會的に活動し、或は公共的施設に關興するものありとするも、到底を超つて見ると賣名的に流れ、わが國の美習とする婦人の徳性を基礎とした婦人運動の如きは殆んど寥々たるものである。

四

朝鮮における花の日の運動に參加した婦人團體こそ、既に京城において常に最も眞面目に活動を續ける、内鮮北團體の婦人會で、いづれも自發的に花の日會の趣旨に協讃し、各會員は喜んで出動したものであつて、實に女性の美しい慈悲心の發露に外ならぬ、小額なりといへども收入金一千五百余圓は、實に街頭に哭いた慈愛の花の貴き結晶であつたのである。

五

齋藤總督夫人が、本會の名譽總裁として統裁されたことは最も多とするところであるが、更に李大妃殿下が花の日會當日特に本社へ御花を召されて愛の花の御買上げ賜はつたことは、本會の光榮はもとより、活動された四百の會員諸氏の上に永久に光榮は輝くのである。しかしてこの舉措はすでに一京城府に止まらず、將來は全鮮におよぼし、一定の祝福さるべき記念日を卜して花の日會を設定し、直に婦人愛の流露に全朝鮮の公共事業に貢じたいものである。（山田生）

五時間餘に及ぶ 川崎次官の取調
角南豫審判事の嚴密な訊問に 顏を曇らせた次官

【東京電報】松島事件について豫審判事の審問を行つた角南豫審判事は加藤書記を從へ八日正午自動車で内務省に赴きかねて打合せ中の川崎次官を訪ひ午後一時半からひそかに次官室で取調べを行つたが次官室は嚴重に締切り六時半に至つて漸く訊問を終り角南判事は内務省を退出し川崎次官も官邸に歸つたが五時間におよぶ取調べ中次官は一回便所に出たきりでその際次官の顏面には相當蒼白の色さへあり興奮を見せてゐた、右は取調べが如何に詳細嚴密を極めたるやを想像せしむるものでありこの取調回にわたり次官が文書をもつて次官室に出入せることは角南豫審判事が飽まで遊廓移轉問題發生當時政府に移轉の意向ありしにあらざるやの點につき取調べを進めて本件に關する内務省と大阪府その他の間に往復せる文書その他につき査問を行つたものゝ如く單に箕浦氏の陳述の假否を形式的に取調ぶる以外に重要な訊問を行つたものと見られる

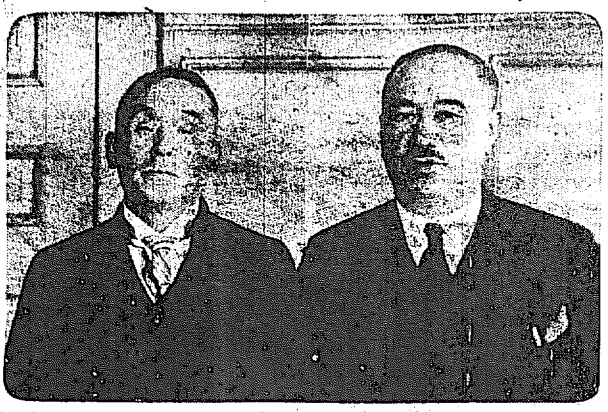
裁判官のやることを見てゐる外はありません（問）角南判事は、あなたを再び取調べるだらうとの噂がありますが（答）左樣な事は先方の勝手で私の知り得る限りでありませんとけんもほろゝの挨拶で其の他何を問ふても一切口をつぐんで答へず大へんな不機嫌である

取調るなら正面から來い
首相の回答により直ちに審問

【東京電報】角南豫審判事の若槻首相訊問について政府筋の言によれば角南判事より四日電報を以つて取調を通告し時の都合を聞き合せたが若槻首相は豫算會議中の故を以つて其の終了後にすべしと回答したが七日朝林司法次官は更に首相に對し角南判事の上京を告げ取調べ時間を打合したいで次いで角南判事は電話を以つて官邸に時間の都合を問ひ合せたものたさうな之に對して首相は既に首相が内相當時松島遊廓移轉問題に就いて採つた態度は明かである筈であるに再度の取調べは執拗いと思ひ「變更の必要はない調べるなら正々堂々正面から來て呉れ」と回答したものである、尚首相が同問題に就いて金錢上の關係は絕對あり得ず說を試すもの、僞證罪云々等も官僚で其の概念は絕對ないと

不機嫌の若槻首相
劍もほろゝの挨拶

【東京電報】松島事件に對する角南豫審判事の取調べが余りに執拗なのに氣をくさらしてゐる若槻首相は八日午後六時官邸にて記者の質問に對し（問）此の間題が更に發展する樣に騷いでゐるがどうです（答）どうなるか私には判らぬ貝



久しぶりの御入來（大川朝鐵社長（左）と長谷川同取締役）

各省の新規要求

……費九百五十六萬八千圓を計上し右より本年度の實行豫算（追加豫算を含む）に比しては……規要求左の如し（單位千圓）

外務省
移民保護獎勵費……
部局新設費（コンスタンチノプル、バタビア） 二〇〇

大藏省
……（二千圓）

陸軍省
一、步兵在營年限短縮經費 四、一〇〇

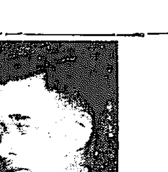
一、經常部 一、新造船舶特殊……五、九〇三
一、新規航空隊……六〇〇

司法省
一、經常部 緊急豫備池田調查費 四〇

文部省
一、經常部 一、小學校……

……
一、……九二一
……二三九

遞信省
……



中川知事は僞證罪か
首相の審問から事件急轉す

【東京電報】若槻首相の訊問より大阪松島事件は急轉し政治的にも極めて注目すべき事態を招來するに至つたが大阪地方裁判所は檢察詐欺罪とし起訴取調べ中の本事件を更に收賄罪として起訴するの意向を示し松島事件の發展如何により中川大阪府知事は僞證罪に問はれんとする險惡なる事態を惹起するに至つた（寫眞は中川知事）

憲政會幹部 鳩首協議す

【東京電報】濱口內相、川崎次官、松村警保局長は八日午前九時より首相官邸に參集し……會幹部數氏と若槻首相訊問後の對策につき協議を行ひ正午過散會した

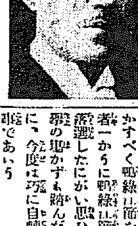
三派の策士入亂れて策動
醜態を暴け出した土地買收の割込運動

【東京電報】松島事件に關し若槻首相が再度取調べを受くべしとは夙に豫想されたところで從來も種々の噂をもつて取調べが行はれたと傳へられてゐるが七日夜の訊問内容については種々の臆說があり、もとより的確にこれを知ることは出來ぬが、一方松島事件の審理が進展するにつれ遊廓移轉問題發生當時、若槻首相が内相時代に若槻の親戚と稱する某が土地買收をたくらみ土地會社重役某氏に對し若槻氏代理の名をもつて買收契約を締んだ際、内相より移轉許可の内意を確めようと稱して土地會社より十數萬圓を受領したことおよびこの事實を關知した政友會および本黨の各方面から割込み運動が試まり遂に憲政會十三名、政友會十一名、本黨九名が入亂れ

政局には影響せぬ

【東京電報】若槻首相の取調べにつき内閣某大官は左の如く語つた若槻首相が松島遊廓移轉問題について各相の策動を行つたことが判明したので首相に對する今回再度の訊問もこの爭ひに關するものでないかといふものがあるつき角南判事の參考訊問を受けた内容は關知しないが首相は當時内相として最初から移轉不許可方針に決してゐたから許可しそうな事すら渉したことは絕對にない、況んや該問題につき首相が金錢問題に關係したことは絕對にないと反對黨側は頻りに宣傳してゐるが事實は右の如くであるから首相訊問の結果は首相に何等やましい點のなかつたとが明かになる丈けで政局に影響する等のことは絕對にないと確信する云々

京城府協議の候補者【六】
自轉車で奮鬪
戸別訪問に死物狂ひの 大和町の 安藤靜氏



◇……自轉車で盛んに驅まわり有權者訪問に躍起な安藤靜氏、熱心な猛鬪振に同情者續出との報があるが、熱心は成功の秘訣、タイヤのきれる頃には府協議員の氏をみるであらう

◇……大和町一丁目の公認候補二三丁目も應援するはずだつたし本町三四丁目も後押のはずだつた處が武上安一氏が本町四丁目から公認ででて、まもなく公認取消されの一幕で、淺野太三郎氏の立候補となり思はぬ處に氏の大敵が現れた

◇……大敵とみておそれぬとて自轉車大馳走の樂となり、誰彼をまたにして悠然中、この後は小敵をもあなどらず、氣をゆるめずにやる事であらう

◇……ずつと前の學議改選に立會議說にのぞみ、得意ののどを聞かすべく懸線山龍をやつた。意欲者一から懸線山龍を有難からず落選したにがい思ひ出もある、運勢の趣かずも踏んだ古つわ者だけに、今度は巧に自轉車を操縦する事であらう

◇……前府協議員として府行政に淺からぬ因縁をもつ、府議の職責重大なだけにさきに成功した氏を推すのもよい事であらう。中央大學と法政大學を卒業したから語學には頗るあかるい、韓國内閣に入つて法典調査局の事務官として羽振のよかつた昔もある

◇……兩來京城に住してこゝに十有九年である、長い在城だけに公私諸般の事情に通曉してゐる、通曉してるだけに府議の適任者といふ事になると、大和町一丁目有志のものせる推薦狀が盛んに市中に配られて居る

◇……今は鮮銀第一銀行を經營本年六十五歲であるが矍鑠壯者の人である、自轉車で奔走する意氣はかふべきものであらう

朝鮮の王公族にも 皇族裁判令準用
帝室制度審査會で決定

【東京電報】現行法令によれば皇族は勅許を經るにあらざれば拘引し又は裁判所に召喚し得ざる事實その他の規程あり今回制定公布される皇族裁判令にも同樣の規程あるが朝鮮王公族は一般國民同樣の法令により取扱ひを受くるの現狀に鑑み帝室制度審査會は王公族軌範に關する皇室令制定に際し王公族は皇族裁判令を準用する旨を明記するに決した、右は王公族優遇の規程の内最も重要なる事項の一である

道豫算諮問 來春にならう

來年度地方豫算は各道とも本府の一般豫算編成方針に則つて編成に着手し來月から來年にかけて評議員會を召集することになつてゐるが本年は豫算の編成が稅制整理委員會等のために遲延したので道評議會への諮問は來年に入つてから開始される模樣である

明年度豫算を見て

國民に不忠實 政府の便宜方策 政友會

政府の來年度豫算は非常な增大であるが經濟界の不況、產業の發展物價下落、失業救濟等に意を用いた跡の無きは遺憾とすべきである、政府は大正十四年來の行財政整理を忘れたかの如くであるが行政組織の一大整理豫算分取りの主義の一掃を行ひ財政上にも根本的整理を行ひその餘力で新產業政策に徹底的努力をすることゝせねば我が經濟界は遂に救濟す可からざるに至るであらう更に政府は年々多額の剩餘金繰入れを行つてゐるが之は全く政府の財政上の便宜を中心とせる方策で國民に忠實なる方法ではない剩餘金の一部を減債基金に繰入れることについては大體適當と思惟するも政府が前會に剩餘金を用ゆる要なしと辯明しながら年々之を減債の資に充つるは其の理由を解するに苦しむ（大口喜六氏談）

藏相のお手際 まづ成功だらう 銀行側

大體に於て前年と異ならざる狀態である、唯強いて之を云へば公債償還に一新紀元を劃した位のもので何等の新味なきを遺憾とする（三井銀行專務池田成彬氏）

豫算の全體を通覽して年々膨脹をなしつゝある國債の整理に對し大斧鉞を加へたのは片岡藏相のお手際で之れだけでも來年度豫算編成は成功であると思はれる（三井銀行常務理事下清氏談）

膨脹は當然だ 非難するに當らぬ 研究會

【東京電報】十五年度と十六年度の豫算を比較するに一億三千萬圓の增を示してゐるが新規要求二億八千萬圓に對し一億二千萬圓程度を節減せることは政府としても相當苦心したと思はれる、而して懸案であつた北海道拓殖、海軍補助艦問題も大體來年豫算で決定したから緊縮方策のもとに豫算を編成するとしても以上の政策實行のためには膨脹も已むを得まいから別に非難するにも當るまい（八條隆正子談）

財源の浪費だ 公約をどうする 政友本黨

【東京電報】緊縮内閣の豫算が十七億三千萬圓とは何人も一驚を喫するところである、その内減債基金繰入れ四千餘萬圓を除けば十六億八千七百餘萬圓の巨大さである、また國庫剩餘金一億六千三百萬圓をも繰入れたのは財源を浪費したもので何んとなれば今後生ずべき追加豫算に對する財源を浪費したもので何んとなれば後は野となれ山となれ主義と評する外はない、殊に前議會に於て國民に公約せる義務教育費一千萬圓をその半額としたるは政府の誠意につき疑ひなきを得ぬ（榎内總務談）

支那官憲大喜び
淺利警務局長を迎へて

【滿浦鎭電報】淺利局長一行は七日朝九時江界より翔にて雲臨所を下り午後三時外時川着、朝鮮所に寄り自動車にて滿浦鎭に向ひ四時到着、警察にて狀況報告をきゝ守備隊を訪問の後渡江、同夜局長は對岸輯安縣知事を招待し懇談を試みたが支那側は非常な喜びで八日午前十時局長を對岸支那側に迎へ盛宴を張つた、一行は八日午前十一時同地を下り渭原に立寄り同夜は楚山に宿泊す、當地一帶は頗る平穩で氣温も比較的あたゝかく一行の旅行は思ひの外氣樂である（伊藤隨行特派員發電）

朝鮮方面の航空路調査
會社設立調査費一萬二千圓 閣議で承認さる

【東京電報】安達遞相の重要政策たる航空路設定豫算は七日閣議においていよく/\復活承認と決し十六年度豫算に六十二萬八千圓を計上するに至り多年の懸案が實現の運びとなつたが一方先般來井上準之助氏を調査委員長に推し澁澤氏外三井、三菱、大倉、安田等財界巨頭と協議の結果設立に至らんとする航空輸送會社（東京、大阪、福岡京城上海間の旅客貨物航空輸送を營み資本金一千萬圓とす）補助費の十六年度五十七萬圓の要求は査定の結果全部削除されたが遞相は七日閣議において極力復活を力說した結果會社補助の一部は閣議において承認さるゝ處となり辛ふじて設立調査費として一萬二千圓だけ承認され今後右調査費で主として朝鮮方面の航空路調査をなすはず

政府所有米

【東京電報】十月末現在の政府所有米左の如し

外米 四九一、七九三石
合計 一、二八九、七〇六石

朝鐵株主總會
社債募集附議

【東京電報】朝鮮鐵道會社臨時株主總會は十二月二日開催社債七百五十萬圓募集（朝鐵債借り替）および利益配當の件を附議する

張御大の北京入
十日奉天出發

【奉天八日發電】張作霖は十日いよく北京に向け出發に決定した、入京の目的は豫て問題となつてゐる張氏の大總統就任說には何等關係なく、單に京畿一帶の兵備、兵備その他を決定の爲めであると尚ほ今回の滯京日數は未定である

聯合軍退却

【上海七日發電】九江陷落後苦境に陷つた聯合軍は南京に向け退却中である

……人……

▲關水武男 八日夜歸京
▲大野一二氏（名古屋商通社長）八日夜入城同日北上
▲長久伊勢吉氏（東京染料社長）八日夜退城北鮮へ
▲栗原狷三郎氏（殖銀行員）往復四十日の豫定で八日夜內地へ
▲小瀨守四郎氏（全州電氣支配人）
▲樋口虎三氏（群山電氣社長）
▲神保信吉氏（新義州電氣社長）九日朝入城不知火旅館へ
▲荒井三郎氏（鴨綠江製紙社長）八日夜出城
▲服部城大總長 十日朝歸任の豫定
▲前田大尉（憲兵副官）母堂逝去のため大阪に歸鄕中のところ七日朝歸任
▲島原鐵三氏（一銀京城支店長）支店長會議出席のため十日夜渡東上
▲山內伊平氏（金電專務）八日夜退城
▲バスアマインター世界漫遊團十六名、北五日朝京城通過南行
▲渡邊九師團長 城津に一泊七日朝歸任◆朝鮮軍司令部附鈴木少將、西四辻大佐、七日城津陸路歸任【與津特電】
▲宮永文一氏（保安課長）十日午後七時着列車で着任の筈
▲小倉少將八日朝京城通過大安へ
▲阿部充家氏 八日朝東上
▲大川朝鐵社長 七日夜朝鮮ホテルへ
▲李學務局長 濟州島學事視察の爲藤江屬を隨へ十四日午後九時五十五分發廿九日頃歸城の豫定
▲ブランド博士（北京大學教授）滯城中のところ八日北京へ
▲平南道主催內地視察團第一班廿三名八日夜入城十一時半壤へ ▲同第二團廿一名九日朝八時入城同夜十一時歸
▲佛國寺視察團 九日朝八時歸城

しなば茶

▲京城の府議戰もどうやらクライマックスに達した、候補者も運動員もすべて化して米搗きバッタとなる▲折も折、料理屋女將の團體が府議會の運中がゾロ/\隊を組んでの戸別訪問、又商黑くもない演說會か……と思ふと左にあらず▲御大澤田清君の名刺を出して『どうぞ清き一票を……』とある▲虹原社が展覽會を開いてゐる朝鮮總督の門前に、府議候補池田長次郎君がとてもデカい看板を出した、そのため虹原社の看板が見えなくなつたので、ごてついてゐるとの話▲總務局の國友總務課長、『笑軒』と號す、蓋し本名尚謙をもじつたもの▲國の神よ懸命なかどうかは知らぬが、國友さんがいかめしい官職にも似ず何時もニコ/\してゐるのは事實だ。（寫眞は國友さんの自筆）

笑軒

京日案內

五號活字十五字詰五行一回金壹圓十錢 匿名ハ一號宛增ニ付拾錢增 料金前納ノ事

貸家 二階建階上八疊六疊玄關二疊階下六疊四半疊 家賃三十八圓 大和町武丁目十五番地 御用の方は同所シイキ電本三三六へ

採用 就職難の諸君徒に焦らず大決心を以て來れ……本町三ノ五七 皐榮會社支部

貸家 三疊三疊二疊……電話本局……竹內へ

女事 務員若干名入用 但し記帳計算に通じ居る者 西小門町……

大島 紬 鹿兒島市新屋敷町 大島紬製造……

恩給 年金恩給……

開設 ……

讓店 ……

恩給 ……

古本 ……

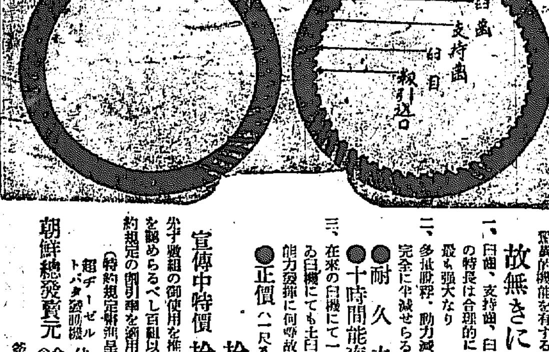
恩給 ……

ほね つぎ・うちみ・くじき……

復興 ……

恩給 ……

ラヂオ ……



專賣特許第八九三九號 新案登錄第一七四〇二號

●今日!即刻!特約販賣店の御申込を勸む

將來全鮮の製罐界を獨占の雄……

神崎ゴム製 八式 發明臼（特許並ニ實用新案出願中）の出現!!

▲製精米界の革命を齎すべき驚異的機能を有する發明臼の提供!!

故無きにあらず

一、臼面、支持面、臼目の三種より成る構造上の特長は合理的に臼面の磨滅を防ぎ耐久力最も強大なり

二、多量脫粹、動力減少にて人夫賃其他經常費完全に半減せらる

三、在來の臼機にて一尺八寸以上なれば如何なる臼機にても七日にも完便に取付け得られ能力發揮に何等故障なし

●耐久力……玄米 四百叺
●十時間能率……玄米 二百叺
●正價（一尺八寸）壹組僅か 拾六圓也
宣傳中特價 拾四圓五拾錢

※申込數組の御使用を推奬す必ず卓越したる機能を認めらるべし百組以上の御豫約に對して正規約規定の割引率を適用す（特約規定請求次第）

朝鮮總發賣元 合資會社 弘中商會 超デーゼル 代理店 釜山驛前 電話一九〇二 三九番

化學應用 金もうけ

勵品及特許品の製法五百餘種を教授す、成功者秩山の如し資本の大小を論ぜず化學の力を應用して直ぐその日から金儲けの出來る講義錄にして農林省指定獎勵の小學校程度の學力あれば何人にも入會を許す●規則書二錢郵券送れ 東京市赤坂區表町二の九 帝國化學通信學校

創立明治三十二年 倉庫業兼營
京城府南大門通二丁目百拾壹番地
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 趙鎭泰
取締役 和田一郎
支店 出張所（京城鐘路、同府東大門外、同本町二丁目、同本町五丁目、同東大門、龍山、仁川、平澤、利川、開城、坪山、金山、元山、清津、平壤、同大同門、鎭南浦、取東沙里院）

京城南大門通二丁目朝鮮殖產銀行横（朝鮮總督府圖書館前）
內科 小兒科 上野醫院
院主 上野和夫
電話本局二五五番

洋服

既製洋服（廉價ニシテ經濟的ナル）
紺黑サージ 折襟三ツ揃 立襟上下 式拾圓ヨリ 十二圓ヨリ
オーバーコート トンビ 十八圓ヨリ
通學服 六圓ヨリ
外ニ各種茂況マント
營業案內 注文ヘ代引御送付
小林洋服店

……部經費は總て……計千九億六千九百……本年度豫算に比し一億三千二百八十……とされて居るかな注公債總額は一……七十三萬六千圓、歲出計十七億三萬二千圓、明年度基礎豫算より一億六千萬圓と決定した各省重要新……

一、[illegible]マサトラン三ケ所)、三〇〇
下級官吏優遇費 五〇〇
師範學校補助費 五〇〇
一、(臨時部)[illegible] 北海道拓殖費 六、〇五九
(一六年度繼續二千五百十五萬)
一、[illegible] 中央官衙建築費(追加) 四、八二四

海軍省
一、[illegible](其の他) 給與改善費 一、四〇〇
臨時部
一、補助艦艇製造費追加 四、七二〇
一、重油貯藏設備費 三〇〇
一、司法官優遇費 一〇〇
一、陪審員候補者選定事務監督費 二四四
一、看守及雇傭人給料增加 [illegible]六四

農林省
一、米、繭改善費 四〇五
一、蠶工船[illegible] 六六一

商工省
一、貿易振興費 六四二
一、發明及工業研究獎勵費 三一七
一、[illegible] 二七三
一、局舍新營費加 六六三

「神」の奏樂裡に 使徒ブースの登壇

火と吐く…愛と迫害の歷史

千餘の聽衆熱狂す

救世軍旗の閃く壇上の右手から救世軍バンドによつてかなでる『力ある神よ』との莊嚴な奏樂の裡に司會者に當たつてゐる馬野府尹を初め內鮮名士卅名からなる支持者が壇の後に控えて、馬野府尹が小田安馬氏の通譯つきで『ブラムウエルブース大將は故第一世ブース大將にもまして聰明な人である』と司會辭がありブース大將は會場に溢れた千余名の拍手に迎へられ壯者の如く老軀を壇上に現した——これが八日夜七時半から公會堂において開かれたブース大將の講演會であつた

◇その演題は『救世軍の由來および其の成功』であつたブース大將は『救世軍が創立當時は世界各人類から非常な迫害を受けて來たが今では世界の不遇者のためになくてならぬ宗教的社會事業機關でこれは救世軍は生きた愛の精神を持つてゐるからである、救世軍は責任を重んじ、命令には絕對服從する皆さんも現實的生活で或ひは精神的に煩悶を持つ方は時を問はず救世軍に來て扉を叩きなさい』と一句一節人類愛を說き、約一時間半にわたりよどみない雄辯を續けたが、聽衆の間からは『アーメン』の感激に充ちた言葉が絕えなかつた

◇それに續いて丹羽清次郎氏の演說があり、獻金頌歌があり十一時半閉ぢたがこの夜は會場が狹くて聞けない人々の爲にといつてあらかじめ第二會場にあてがつた本町南のキリスト教青年會館で待ちもうけてゐた人々のために同じく人類愛を說いたのである

有權者名簿を謄寫して漏洩

謝禮卅圓貰つた臨時傭員 府當局から眞相發表

府協議會議員選擧は切迫と共に盛んに選擧戰を演じてゐるが、中にも朝鮮人側は立候補卅四名となり候補者は公職十五名、非公職九名と別れて互ひにしのぎをけづつてゐる これに關聯して府職員が有權者名簿を謄寫閲覽前に漏洩してゐたといふ噂がたち噂に噂を重ねて傳へられてゐたが、京城府では八日この眞相の調査を行つた結果、馬屋內務課長から左の如き事實の發表があつた

府の臨時選擧係職員金鎭益は去る十九日豫て知合ひの任興淳に鮮人側有權者の名簿謄寫を依賴されたので廿日午後四時から九時迄の間、府廳に居殘つて他の十一名の職員にたのみ、カードに有權者名を書き込み翌廿一日正午任に是を手渡し謝金卅圓を受けて同夜選擧係職員十三名と共に、雅敍園で飲食をなしたものである、名簿閲覽は先月廿一日から一週間行はれたので、期日前に漏洩したものでないが公的帳簿を個人に依賴されて退廳後に謄寫し謝禮金を受けた事は不とゞきな點があるので本日金には譴責を命じ尚調査を行つてゐるが、併し右は法律的な犯罪ではないが、府職員としてはあるまじき行爲であるから、調査完了の上にそれぞれ相當の懲戒をなして將來のいましめにする

龍山方面激戰

寺尾氏も起つ

龍山有志協議の結果寺尾猛三郎氏を府協議員候補に推してゐたが、八日同氏も意を決し立候補した、同氏の蹶起によつて、龍山の他候補は頗る影響を受けるもの〻如くであるが、同氏の當選は確實と目されてゐる、これで內地側は卅三名の多數の立候補者をだし熾烈なる白熱戰とならう

法相を襲ふた

四名起訴さる

【東京電話】さきに江木法相に對し火瓶を投げつけた赤澤外四名は八日起訴された

宮相微笑み 齋藤家萬歲の辭

朝野の名流を招き

總督嗣子の結婚披露宴

【東京支局特電】齋藤總督の嗣子齊氏(二七)は財部海相夫妻の媒酌で有馬賴寧氏長女靜子孃(二〇)と八日華燭の典を擧げた、これよりさき同日午後三時齋藤總督は齋藤家を代表して新婦出迎へのため有馬家に到り午後四時より日比谷大神宮において兩家親族廿八名參列の上嚴かなる結婚式を擧げ午後六時より帝國ホテル大廣間で在京の朝野名士三百名を招待し盛大な披露宴を張つたが主なる來賓は一木宮相はじめ若槻、高橋、後藤、珍田、田、小川氏等にして財部海相は媒酌者としての挨拶、兩家を代表して齋藤子の挨拶、一木宮相は來賓を代表して謝辭並に兩家の萬歲を唱へ來會者多かれと祝辭を述べ午後九時散宴した

愛を說くブース大將

(下)公會堂に溢れる聽衆

立看板橫暴……

白熱戰が產む聲

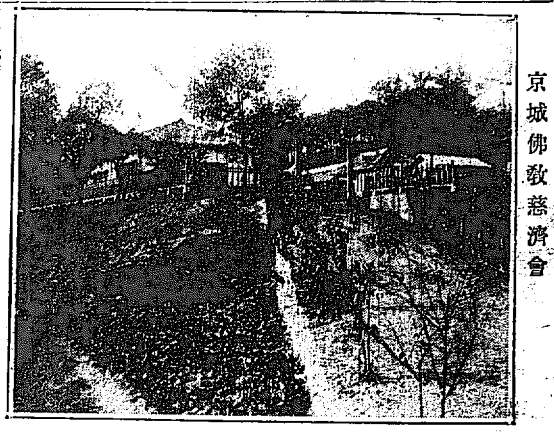
許可なくして南大門を目隱しすると府の苦情

京城府の協議會議員選擧は立看板の多い事でも激烈な事がわかるが、一番この多いのは鐘路府廳前と南大門とで雅趣ある南大門の如きは看板の林立中に埋まつてゐるが、これは府の管理せる

財產 を使用してゐるので立看板の際は府の許可を受ける事になつてゐる、しかるに今回の選擧では、大垣丈夫氏が府に屆出でただけで、他の立看板は屆出でも許可も受けてゐぬので、府では各候補者のこの態度に不快を感じてゐる、然し許可してない立看板なので、撤退させる事は出來るが、立看板も

選擧 關係のは頗る大なるものがあり、中には足場だけ百余圓もかかつたものがあるので撤退も容易でない、右について長尾內務課長は語る

『選擧の立看板は慣例のやうになつてゐるが、南大門や鐘路の府前にたてるのは一應管理者の府へ屆出ねばならぬ事になつてゐるのに、大垣氏の外は誰も屆出さへしない、許可を受ける位の事はしてくれてもよささうなものだが——』



京城佛教慈濟會

孤兒の群を のぞく

行路病者のむれを 救ふ彌陀の光

本願寺別院の救護に始つた

◇……京城佛教慈濟會

◇……頼くして肉親に先立たれて浮き世の荒波をなめつゝある孤兒と共に老境に入つて扶養者なく人生の行路の上に倒れた行路病人もまた悲慘なものである府內光町一ノ一二にこれ等人生の敗殘者の傷つき倒れた人々を慰めてゐるものに京城佛教慈濟會がある。

◇……これは明治四十一年頃大谷派本願寺京城別院構內に別院經營の內鮮人行路病人救護事業を始めたのが起原となり逐年救護者が激增するので大正六年四月京城佛教各宗聯合會でこれを經營することになり內鮮の行路病者を收容救護することになつた

◇……大正十年七月時代の趨勢に鑑みて實費診療部を附設して一般公衆の治療救護を開始した、一ヶ年における入院患者の延べ人數は一千六百二十三人で

◇經費は會員の支出および一般篤志家の寄附金救護費金補助金等でこれにあて實費診療部は實費および入院料國庫および地方費補助費等で支辨して居るが何れも經營は困難である

取消 六日附夕刊紙上『折角の訪問客を片つ端から斷はる』と題するブース大將に關する記事は誤聞につき取消す

目ざすところは 新日本記錄

砲丸抛て優勝した

有馬辰男君元氣で語る

遠戰の第三回明治神宮競技大會に朝鮮代表として遠征し砲丸抛に見事優勝の榮冠を戴いた有馬辰夫君は八日午前十時着列車で元氣よく歸城したが同日午後二時諸岡警務局協贊理事に伴はれて本社に來訪左の如く當日の戰況を語つた

『朝鮮の選手は一般に內地の選手に對して悲迫感を感じますが私も最初はそれにやられまして試技三回迄はどうも投げられないので弱りました、併し出發の時から賞には這入れる自信がありましたからせめて二等迄は食ひ込んでゆきたいとガンバつたお蔭で强敵廣田君を破ることが出來たのです殊に廣田君には先年朝鮮代表野間君が五回迄一等だつたのに六回目にやられた事があるので後岡さんらからは野間君のかたきも併せてとつたといつてほめられますので私も嬉しいやら恐縮やらしてゐますもう內地の選手だといつて恐れるには及ばぬと思ひます。目ざす所は日本記錄の作成です此冬中は寒さと戰つて猛練習をやるつもりです』と尚八日夜銀行集會所で開かれる同君の祝勝會に出席して九日朝開城に歸るはずである。

笑顏で歸つた有馬選手

早大遂に優勝す

3對2の大接戰

慶應の善戰も空し

【東京電話】天下の野球ファンを熱狂させた早慶野球戰は八日いよ〳〵決勝戰審判天知(球)林、安井(壘)

▲一回(慶)梶上中飛後濱崎三壘線に二壘打をしたるも永井三飛町田三飛(早)森二飛瀨本死球瀨本盜壘に二進更に井口一壘强襲に三進せしも氷室中飛に止む兩軍勝負より打擊戰に出で興味湧く(兩軍零)

▲二回(慶)野村左翼二壘打後岡田の犧打に進み好機を得本鄉二個に一壘森ハンブルする間に勇躍生還村川遊前に封殺さる(早)加藤二飛梶上遊前に封殺さる(早)伊丹四球河合三振後藤本富永共に四球を利し一死滿壘早大好機を得たが水原兒遊飛して伊丹封殺(慶一、早零)

▲三回(慶)濱崎四球永井安打町田犧打に走者二、三壘に寄る(早大藤本退き原口と代り)野村投個に濱崎三本間に挾殺岡田三振(早)森右翼安打瀨本一壘にエバンドを打てば永井球を捨ひタッチせんとして走者に衝突顚倒し再び起き得ず瀨本も顚倒せしが身をかはして一壘に入る森三進(町田プレートに立ち永井左翼に退く)井口たつや町田暴投して森生還同點となる井口投手を强襲し本鄉好捕して井口刺さる氷室一飛伊丹四球後二盜河合四球に滿壘となりしも原口遊飛に河合封殺(慶零早一)

▲四、五回(兩軍零)

▲六回(慶)町田一、二間に强襲野村一邪飛岡田遊撃失本鄉遊飛に町田間一髮に本壘に刺さる村川起つや原口暴投岡田生還同點一點をリードす村川三振(早)一死後原口四球富永一、二壘間に强襲せるも右翼早球に懺死水原兒遊飛(慶一早零)

▲第七回(慶)三者凡退(早)無爲

▲八回(慶)一死後町田遊間ハンブルに生き野村二壘上へ安打せるも後援なし(早)氷室三游間强打村川ハンブルして生き伊丹三壘へバンドし村川惡投に生くピンチ中津川二遊本壘に焦つて氷室生還對となる原口に犧打に走者二、三壘に寄り慶應危ふかりしも永井奮闘し富永三振ピンチ水上投前に止む(慶零早一)

▲九回(慶)二死後梶上安打せしも焦つて二盜し刺さる(早)森安打瀨本犧打井口四球に滿壘氷室二壘に飛球をあげしを本鄉落球し森生還貴重の一點を入れ四時半閉戰斯くて早大は三對二で優勝し今秋の優勝チームとして攝政宮カップを授與さる

大 早
森 木口 宮井 合本 水原
瀨本 井田 永井 村田 伊丹 河合 富永
(二)(左)(三)(中)(捕)(右)(投)(遊)(一)

慶應
上 梶上 濱崎 永井 町田 野村 岡田 本鄉 村川 加藤
(中)(右)(投左)(一)(捕)(二)(三)(遊)

新府廳舍の惱み……

婿現れぬ古い殼

月々消える一萬圓の利息

焦る舊廳跡の始末

新廳舍に引移つた京城府は新生の喜びに溢るゝ反面に脫捨た古い殼地の處置についての惱みがある。舊廳舍敷地三千百七十六坪とこれに續く旭町一丁目側の學校組合所有地四百十六坪合計四千九十二坪が府の運動の腕前によれば府所有地九十四萬圓學校組合二十七萬圓合計

百廿一萬(圓也と見積つ)てある。目下の處府の計畫では一丁目と二丁目の道路を貫通して十五間幅に開め中には縱一本横二本の道路を通じて九百三十七坪八合を道路敷となし此の道路に面する路敷となる壁舊廳舍の角より木町通へ一直線とするまで押出し二〇三坪の道路敷地を除いた殘りを處分とし合計三千三百十六坪八合を賣立てんとするのであるが處理處分に總督府が判を押すかどうか默つて承認したところで坪あたりざつと三百六十圓ぐらゐ

誂へ向きの買手が出るか否かが頗る疑はれてゐる、先年來第一相互生命が大分色氣を見せてはゐるがこれとてもまた思はせ振の有樣で交涉を開始した模樣はない、三越の移轉が新築移轉に上つた時代は昔のことゝ今は豐氣となれば保險會社の如き低資を運込んでゐるものでなくては手出しは出來まい一方京城府としては安田から借り込んだ金が一年立てば利子だけでも

十二三萬(圓も利息ばかり飛んで)しもうので結局大抵どころでは手放す方が得策といふ立場にある苦痛的な解決がつかねば府の手で切り賣でもせねば仕方がないが府の肚としてはなるべくならば一纏めで賣放したい意向である

活花の秘傳

二日間で呑み込める……

各流派に亘つて 斯道權威の講習

日本活花界に科學的基礎をおく敎授を爲し全國に數萬の會員を有し活花の民衆化に努力しつゝある京都大日本國華會長の長江雅俗之同九州支部長觀光月舞雅南杏氏を講師とする大日本國華會主催本社後援になる生花投入盛花講習會はいよ〳〵來る十一、十二兩日毎日午前十時から午後四時まで本社樓上において開催することになつた、講師は多年苦心研究の結果創案した誰にも判り易い新敎授法によつて初心者でもこの二日間で凡そ百流にわたる各流派の講習で理解させ從來の師匠が三年或は五ケ年間も修業しても容易に傳授しなかつたいはゆる『奧許し』の秘訣を公開しこれを一般家庭の婦人たちに公開し日常生活において夫人令孃たちの趣味の向上と活花によつて各家庭に一脈のうるほひを起こさうといふのである、殊に講師はこの機會において講習者の質問に答へることになつてゐる、同好者はこの機を逸せず入會し講習二日間において華道の眞生命に觸れて頂きたい講習會費は二圓で講習希望の方は本社にお申込みを乞ふ、なほ會場でも當日受付けます

「來年は勝つ」と 悲壯な決心

京都廣島の奮鬪を語りつ

元山高女選手歸る

明治神宮競技大會に本社から朝鮮代表として派遣した半島女子庭球界の明星元山高女の池田鳩子師範中島の諸孃は歸途六日京都市立第一高女および同校專攻科と試合して全勝した

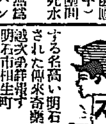
同校 は明治神宮で四回戰まで行つた學校であるがそれを惨敗せしめた元山高女の實力は何といつてもすばらしいつゞいて翌七日は廣島縣女同市女と試合して時間がなくて引分けとなり時間があれば優に勝つ試合だと殘念がりつゝ元氣よく八日午後七時着列車で

歸城 直に本社に到り晩餐會に出席して愉快に當日の壯觀を物語り午後十時五十分發列車でよく〳〵歸元したが來る年こそ必ず榮冠をうべく歸ると直に猛練習を初めると四孃は交々悲壯な決心を述べて歸途についた

二葉洋行開業

府內長谷川町一丁目の二葉洋行は今回大和町通一丁目に支店を開業し各種樂器および蓄音器の販賣修繕を開業したので十二日から五日間開業記念として亦抽籤附特價デーを催す

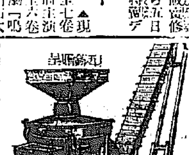
中央館(九日から)▲現代悲劇『碎かれた人形』全七卷 荒木忍、羽田天羽、星英子主演 ▲西部活劇『鐵道騎士』全六卷 バックジョン主演 ▲時代劇『鳴門秘帖』第一篇七卷 市川右太衛門、環歌子主演



せきづい セキズイ
骨突出 手足シビレ 方に治療効あり キミ多年の病苦
する名高い明石人丸された御米奇藥を二……越次承諾報ず
明石市相生町 横山家

京都帝大教授工學博士 濱部源次郎先生指導
農林省比較審査 最高位入選 大量生產直卸
オフセツト式 ヤンマー

最新型出現 揀別式エレベーター付 ヤンマー籾摺機
能率一日玄米二百俵



朝鮮販賣所 加藤商店機械部
京城驛前通 發賣元 山岡發動機 京城支
釜山富平町一丁目 電話長六八二番
電話本局一〇〇三番

星名刺
東京馬喰町二 淺井商店
各地印刷所にあり

登錄商標 EO 岡田乾電池 ラヂオ用
遞信省 鐵道省 朝鮮總督府 指定工場
東京 中川 岡田電氣商會 岡田商品

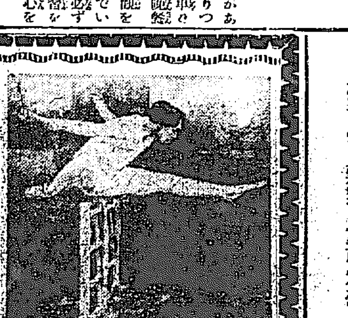
青年訓練服 青年團服 奉仕大廉賣
學生服 コールテン 服地 製品 用品 一式 作業服 ズボン 各種 綿布
名古屋市西區島田町一丁目 都築商店 振替名古屋六九二三 電話本局四三三六
見本品取寄御一報

胃腸病院
麴町區內幸町一丁目三番地 電話銀座(三六三一、五三一七)
診察時間 自午前八時 至正午
院長 醫學博士 平山金藏
副院長 醫學博士 神保孝太郎
見習看護婦募集

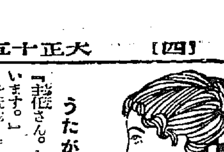
登錄商標 アングル印 メリヤス製品荷揃
冬メリヤス
眞毛メリヤス・毛メリヤス・オーバーシヤツ 手袋・靴下・毛糸製品一式・其他雜貨
大阪市南本町四丁目 東京市橫山町三丁目大通
現金問屋 高松福三郎商店
目錄呈送 表店內陳列

日瑞皇室と杞柳製品
高松宮殿下、瑞典皇儲同妃殿下慶州行啓に際し弊製品御使用ご御嘉納被遊候事を謹告候
大正十五年十月
ヤナギ椅子及び行李バスケット
朝鮮大邱府麻山町一七三 東洋杞柳株式會社

精米業者が等しく翹望を集め夾雜物除去の理想機は 玄間式輕裝撰穀機 なりとするは
一、機體は……形體極少にして高二尺二寸幅一尺九寸長三尺
二、所用動力は……人力動力の何たるかを擇ばず輕快無比
三、籾及玄米の……石及夾雜物除去に於て在來の卓絕せる精撰機の四回以上反覆の効果あるを保證す
四、能率は……拾時間籾玄米の別を問はず三百石
五、價格は……一台僅か四十圓(入力用は七圓增)
六、機械の構造は……堅牢無比投げても打つても破れない
七、地方著名の農場及び精米所に限り試用後にて代金支拂にて結構
以上七項の理由に依る、其の聲價一致か本機の實質を語る無上の推奬である
特許玄間式籾粒精撰機 輕裝撰穀機、籾摺機 碎芒機、穀類自動乾燥機 製造發賣元
京釜線大田 朝日農具商會
振替京城一五五五二番 電話三三番一一六番



アルス 運動大講座
見本進呈 新聞名記入葉書にて御申込下さい。
運動競技體育の新部門に亘り百三講を網羅せる空前の大講座
全十二卷(一ケ年完了) 申込金弐圓(最後の一冊分に充當) 毎月一冊 定價弐圓 一時拂は割引す。
東京小石川表町 アルス 振替東京二〇八八八



愛闘 (29)

山田勇雄作 多田毅三畫

うたがひ（一）

『主任さん。あの、お電話でございます。』

紫紺色の事務服をつけた、十五ばかりの眼もとの可愛らしい女事務員が、三好のそばに來て、低聲にいつた。

『電話？さう、どこからかゝつたの。』

と立ちあがりながら、三好は先にたつた女事務員の、小さな肩をちよいとつゝいて、

『主任さんなんていはないで、三好さんといつておくれ、そして電話がかゝつたら、必ず先方の名前をきくんですよ。』

と小聲でやさしくいつた。

『はい、女のお方からでございます。』

『さう。ありがたう。』

三好はそのまゝ、事務室の隣の方にある電話室にはいつた。

『おい、なか／＼こまかいぞ、今度の主任は』

と、電話室に、はいつた三好の姿を見送つてからすぐ机を並べてゐる事務員の一人がいつた。

『さうらしいな、どこか神經質らしい所があるな』

『しかし、若いがかなり頭はよさゝうぢやないか。』

『それはさうだらう。入社早々こゝの主任にまはされる位だからなあ。』

『頭一個切れがいゝよ、今までのやうに休みがはつきりしないのは感心しないつて、日曜日は天の與へた休日だから、必ず休むことなんていつてゐたよ。』

『だいぶ能率的だな』

『だが、ひとり者だといふのに電話一回の電話が、女からかゝるなどは、すさまじいぞ』

『その方も、能率的なんぢやないか。』

『さうかも知れないな。』

四五人が、一度にどつと笑つたその時、電話室から三好が出て來たので、一同は、又いそいで、机に向ふと、各々熱心ぶつて事務をとり始めた。

三好が自分の椅子について、書類を調べ出すと、タイプライターの前にゐた男が急に、たゝく手をやめて、

『主任さん』

と頓狂な聲で呼んだ。

『又主任さんですか、』

と三好は、急に、眉をしかめて

『主任さんと呼ぶのは、よして下さい。何だか僕は大嫌ひなんだ、三好君といつて貰つた方がいゝですね。』

『では三好さん、早速ですが、支店の內規を說明していたゞきたいんです。』

と、笑ひながらいつた。

『支店の內規といふと、一體何のことです。』

『いや、甚だ失禮で、が、たゞ今の電話は御婦人の方からおかゝりになつたやうですね。』

といよ／＼笑ひ出しさうな目つきで、皮肉に三好を見ながら。

『婦人から、電話がかゝつた場合は、支店の風紀粛正の意味で、罰金を徴收する事になつてゐるんです。』

『罰金？そいつは手きびしい內規ですね。』

三好も笑ひながらいつた。

『いや、別に罰金とは申しませんつまりやすいところで、コーヒーでも御馳走になれば、滿足するんです。』

一同はどつと吹き出した。

『承知しました。それでは恰度ひる飯に、外賣のうなぎをおごりませう。』

『鰻政、鰻政！名主任萬歲—』

と、一人が叫んだ。

『どうもその主任と呼ばれるのがつらい。どうです、主任とよんだら、今度は僕が、罰金を徴收しますよ。』

と、三好が笑ひながらいふと、

タイプライターが

『それはいゝさか、違法に類しますね。おなれになれば、又、耳障りではなくなりますよ。』

そこへ女事務員が、出て來て

『先程の電話の御方がおみえになりました。』

『あゝさうですか、應接室へ願ひます。』

と三好が立ち上ると、すぐ、タイプライターが追かけるやうに

『あ、いよ／＼實物の御入來ですかさうすると罰金が更に高くなりますよ』

流感風熱に一番ヨクキク 復方ピラミドン 販賣店各地藥店ニアリ 京城府龍山元町二ノ八八 本舖 林藥房

京染 京城 志らぎ屋

學藝界

◇全南俳句會 全南物產共進會を機として木浦鋼生吟社の主催で來る二十一日同地松島神社々務所で開催する。兼題は小春、冬服、通題五句（會費一圓）

◇安立芝香氏（南秀畫家）東京西巣鴨池袋に假寓。

◇高橋與沙郞氏（俳人）このほど次女出生、名は玲子。

◇廣瀬猛滅氏（同）福岡縣管中のところ還山に歸つた。

◇朴容桓（同）毛見を終へて木浦に歸宅。

次回文ノ課題

短歌 少女 一人五首 尾上柴舟先生選

締切 十一月十五日

賞金 一等一圓半 二等一圓 三等五十錢

注意 用紙は葉書（住所姓名雅號明記）宛名は京城日報社文苑係へ

默氏送別俳句會

門外集會所にて

何時となく小徑つくる枯野哉 默耳
川押す汐に濟ひ堀へ大根舟 黄耳
月上りて山冷えしるき枯野哉 公鳳
大根干す細箭太くありに島 紋山
惱み耐て居る大根哉 柏園
枯野原かそけき灯消殘かな 育之
漬け余る大根小さく揃ひ絶 荒南
日皇りの風吹きまはる枯野哉 都花
大根干夕べの星觀かる 柯于
惜別の心にありぬ大根汁 雄
郷を出て邑內までの枯野哉 岳水

蜻蛉も來る日の園や萩の花 西水
萩の宿留守がちにして干衣哉 良美

新らしい出版物

黄表紙廿五種

日本名著全集の十一卷

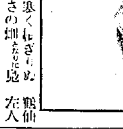
今となつては容易に原本の手に入りにくい黄表紙もの二十五種を復刻しておさめてゐる。春町、喜三二、馬平人、杜芳、全交、三和、京傳、一九、馬笑、三馬等の作に春町、政恒、政美、千代女、豐國、重政、子興らの畫の中には原本にちかい柔らかな味の出たものが少くない。解題は山口剛氏によつて成された珍書である。全八百頁。日本名著全集廿六册中の第十一卷（豫約價一册一圓六十錢東京日本橋區馬喰町二丁目日本名著全集刊行會發行）

◇ビジネス・ダイアー（大正十六年用）裝幀の堅いこと、紙質の良いことと便覽の豐富にして有益重寶なことを三大特色とする。ポケット型携帶に至便（東京神田區錦町アーチ第三號鐵道時刊局發行）

◇教育教授の新潮（佐村信平著、第一篇）第一部が教育教授の新潮、第二部藝術教育四稿第三部勞作染主義の教育六稿に人と實利の短篇を添たポケット型約八十頁の洗練された文字である非賣品實價五十錢成興佐村信平發行）

◇石楠（十一月）純正俳句研究雜誌……五十錢東京市外代々木山谷石楠社▲生光（十月）風見明成氏が雜詠俳句の選者……二十五錢東京牛込區市谷本村町共發行所▲經濟革新（十月）加奈陀太平洋鐵道の沿革其一……一圓東亞經濟調査局發行東京神保町東京堂書店發行▲アルス建築大講座（三）窗與圓解從耀論說親切を極む……會費制日京小石川表町アルス▲文章世界（十一月）三十錢東京牛込區矢來町新潮社▲我觀（十一月）五十錢東京麹町區前出ビル其社▲東洋（十一月）五十錢東京麹町區內幸町二丁目東洋協會▲印刷雜誌（十）四十錢東京牛込矢來町其社▲扇友（二の一七）龍山漢江通一五鐵道局友會▲映畫世界（十一月）三十錢東京芝區愛宕下町其社

讀者らん



▲本町四丁目若草町角にて二十三日のガマ口金入り一個拾得本町三交番へ屆け候心當たりの方は至急申出でられたし（あさひ屋）▲胃腸の藥にするゲンノショウコおよび芍の種子御分讓下さい（忠南仙掌田中生）▲大麻類の良質なきや（愛鶏家）▲太郎生に答ふ。一夜霜に打たすれば臭氣はスッカリ拔けてしまひます。何でもおたづね下さい（大兵生）▲私は十二指腸蟲としてかやの實（木の實）を食べて居ますが何分澁皮がとれんので困つて居ます御存じの方御教へ下さいませ（本町二の一六萬門內神本）▲筑前琵琶師村旭汀師の住所知りたし（御錦生）▲旭町一醫國手（係）▲關門トンネルは何時出來上がりますか工費はどの位でせうか（白岳生）▲どなたかカナリヤの雌を一羽御分讓下さるお方はありませんか（電話本局一九〇三番古館）

京日俳句

ダリヤ……（四） 高濱虛子選

ダリヤ咲くや金の耳輪の支那婦人 龍山 宮川栗村
その中の黄色明るきダリヤかな 全州 井上夏子
登校子に一寸剪りしダリヤかな 龍山 茂木子雞
腕組の瞳見おろすやダリヤ咲く 淸州 片岡洋々
孫竹をしたるダリヤの高さかな 京城 鈴木日想子
雨の間を出でゝダリヤを起しけり 同 鈴木あい子
庭狹し年毎ダリヤ細り咲く 京城 戶田雨譲
窓開けて雨のダリヤに立ちにけり 龍山 赤星凪
花ダリヤ英語習ひに二少年 安東縣 石畔弦一郎
教會へゆく姉が剪るダリヤかな 釜山 齋藤猫秋

歲氏を迎へて（蝸牛洞報）

戾りて枯野小くれきしめ 鶴仙
大根畑き賊さの畑となり見 左人
年狩におくれ渠なし一人哉 倫糸子
紅葉をたけしが操り秘苑哉 蝸牛洞
飾り來て灯に洗く山の茸哉 よし男
澱もち宵の眼覺めし夜長哉 白雲洞
針仕ぶ妻の手先きに夜長哉 素水
天井にねずみの騷ぐ夜長哉 茶堂
捨て猫の鳴聲けたる夜長哉 雨田
南田謠をのべてよきところ 滋

鴨水吟社（盛州 愛水報）

赤とんぼ止まりて秋の枝に 鷗一
支那よりも見えし秋の紅葉 女山
宮扇擊くとざして秋の風 梅吉
花葉に城の紫雨となりに 瑛子
ここにもよ秋や秋吹く 同
城壁の萬にも風や秋の花 たもつ
窓家まで續く小徑や萩の花 愛水
よべの雨に亂れし萩の小路哉 森雲
夕ざるゝ秋の小家を訪ひに 同
萩咲くや溜を戾る馬夫の群 百一

振替貯金六〇六號 各號共一本六圓 京城黃金町一丁目 柴崎仁壽堂支店 電本局一六六〇番

演藝案内

黄金館 東亞 共營
當る十一月九日封切 帝キネ新契約記念興行 皆様の黄金館
帝キネ芦屋時代作品 義俠 祐天仙之助 前篇六卷
帝キネ小坂作品小島洋々主演 現代映畫 親子獅子 全五卷
帝キネ芦屋作品尾上紋十郎主演 時代映畫 影繪の如く 前篇六卷
文部省推薦映畫早川孤舟作品 純粋劇お伽琵琶 現と幻 全編
始お伽琵琶 西頭旭勝 特別
文部省認定映畫早川孤舟作品 史劇琵琶 村上喜劍 全編

中央館 マキノ キネマ
十一月九日全國一齊封切 マキノ御室スタヂオ特作映畫 最後の人に比肩する藝術映畫
現代悲劇 碎かれた人形 全七卷 荒木忍、羽田天羽、星英府主演
ウキリアムフオツクス社超特作 西部活劇 熱血騎士 全六卷 快男兒バツクジヨンス氏主演
四社競映中の最高權威マキノ黄金映畫界先して突如斷迺鎖女優奇襲 マキノの大衆大劍戟劇最近超特作 大阪毎日新聞連載吉川英治原作 指揮マキノ省三 監督 沼田紅綠
時代劇 鳴門秘帖 第一篇 全八卷 巨星市川右太衞門、環歌子主演 マキノオールスターキャスト

喜樂館
謝恩破價特別大興行 拾錢均一 自月六日至七日八日九日四日間限
日活會社現代劇部特作品 日本映畫界喜劇界の大王 ▲嘉笑 ちや騷動記 六卷 小泉カポチヤン珍奇通
日活會社代表的大時代劇 巨星尾上松之助映畫中の傑作主演 監督界の統帥池田富保氏力作 ▲劍聖 荒木又右衞門 十七卷 河部五郎、市川市丸、櫻木梅子助演 外日活劇部俳優總動員數千名
◎荒木の前に荒木なし荒木の後に荒木なし
特別料金一等四十錢三等二十錢 小人、中學生は其半額

大正館
三日ヨリ超特別大興行 今や映畫戰上の第一戰に起つ我が松竹の三大作品
ジアイターグラフ映畫 ロバート・エンスミンジャール監督作品 人情活劇 鉄沙に咲く花 五卷 アリス・カルホーン孃主演
阪東妻三郎プロダクション映畫 幕末奇譚劇 門田淸太郎監督 大劍劇 南蠻の劍 八卷 中村擧之助、鏡淳子主演
その構想の雄大なる事演技の熱烈さパリモアのシーピストと迎接せられて優るとも劣るとは誇張の言にあらずまさに映畫界を彩る大限惑
松竹キネマ超特作快男兒傳明主演 鈴木傳明監督主演 海洋大活劇 海人 前篇八卷 浜藤伊與吉、押本映治、梅尾天海、水島亮太郎、松井千枝子、高尾光子、二葉かほる、春日淸子

浪花館 明治町 電本二六〇番
十一月五日ヨリ 東京名流演藝會
落語界の大家 古今亭馬生 一行
女義界の名盛 竹本組春 一行同
浪曲 梅川忠兵衞新口村の段 組馬組
落語 菅原傳授寺子屋の段 春生照

かぜ、ねつ、しんねつ 一包のめばスッとひく 九條藥局の クプント
竹村製劑所 大阪東區南久太郎町三丁目電停前 藥劑師 竹村幸次郎 振替大阪二二六〇番 全國到ル處ノ藥店ニアリ
にせ藥多し御注意あれ（藥價廿錢三十錢五十錢一圓）

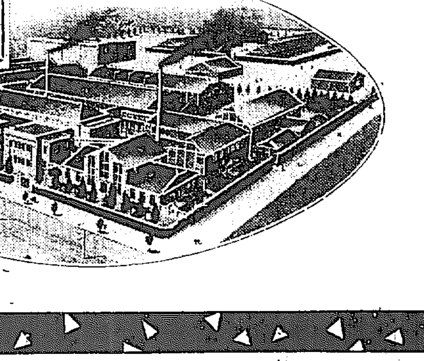
醫學博士 古城憲治 內科 小兒科 入院隨意 普通病室及傳染病室 古城小兒科院 東京明治町一丁目 電話本局二四番

貴孃をホントに美しくする白粉……學理を最も正しく應用したる

純 無 鉛 美顔白粉

桃谷藥學博士創製

▼內務省衛生試驗所…無鉛証明▲



美顔化粧料發賣元 桃谷順天館と化粧品研究所

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆
●關門神戸大阪行（群山木浦經由）
中細丸 十一月四日
江陽丸 十一月五日
第二朝香丸 十一月七日
大信丸 十一月九日
長良川丸 十一月十日
△東京行 南丸 十一月十四日
四川丸 十二月一日
●大連行 大智丸 十一月廿日前十時
●群山、木浦、釜山、長崎、鹿兒島、三角、若津行 大智丸 十一月四日午四時

元山出帆
●淸津、雄基行 南丸 十一月十四日後五時
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 中丸 十一月八日後二時
●淸津行連絡御便利 京城驛午前十時御乘車、元山御乘船ニテ到着ニ付京城ヨリ一泊ニテ到着

內地各港出帆主要航路
●歐州行毎月一回●南米行毎月一回●濠洲行毎月一回●北米行毎月二回●孟買行毎月二回●南洋行毎週一回●印度行毎月一回●甲谷陀行毎月一回 御注意 印ハ船客御斷リ

大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇二番
京城代理店國際運送株式會社支店 電話一七〇・一五九七番
本町二丁目 仁川本町一 電話四三番 田組
群山代理店 仁川港町六 電話十二番 遠田組 一四三番店

朝鮮郵船定期 出帆廣告
京城府光化門通二一〇 朝鮮郵船株式會社

○仁川出帆（代理店內國通運支店）
天安丸 一一月一〇日 東京行
漢江丸 一一月一九日 大阪行
羅南丸 一一月一四日 長崎三角行
咸江丸 一一月一四日 鹿兒島行
昌原丸 一一月一一日 新義州行
巨濟丸（四、八日）寄 海州行
末信丸 一一月一八日 濟南浦行
盛德丸 一一月一六日 大連行
會寧丸 一一月一一日 釜山上海行
平安丸 一一月八日 大連行
羅南丸 行

○木浦出帆（代理店山野回漕店）
天安丸 一一月一二日 東京行
慶州丸 一一月九日 大阪行
海州丸 一一月九日 濟州島行
慶興丸 一一月一一日 多島海行
昌原丸 一一月一六日 仁川行
咸江丸 一一月一一日 新義州行
平安丸 一一月五日 釜山上海行

○釜山（出帆取扱店大池回漕部）
天安丸 一一月一三日 東京行
慶州丸 一一月一一日 西鮮大阪行
釜山丸 一一月一〇日 北鮮大阪行
羅南丸 一一月一七日 長崎三角行
咸江丸 一一月一〇日 鹿兒島行
永江丸 一一月二〇日 新義州行
淸津丸 一一月一〇日 北鮮行
平安丸 一一月七日 浦塩行
經城丸 一一月九日 上海行
忠淸丸 一一月一一日 鬱陵島行
鏡城丸 一一月二日 江原道行
立神丸 一一月五日 濟州島行
立神丸 一一月七日 宇品經大阪行 元山寄淸津

○元山出帆（取次店內國通運支店）
釜山丸 一一月八日 大阪行
京城丸 一一月九日 淸津經大阪行
新義州丸 一一月八日 江原道行
雄島丸 一一月一九日 雄基經敦賀行
平頭丸 一一月一九日 淸津經浦塩行
光濟丸 一一月一一日 城津經浦塩行
春川丸 一一月一九日 雄基行
淸津丸 一一月一二日 浦塩行
立神丸 一一月一三日 釜山、宇品、大阪行
立神丸 一一月九日 淸津直行

釜山支店 佐藤町 電話 長一八四、一八四七番
元山支店 海岸通 電話 長一六二〇、二四番
仁川出張所 海岸町 電話 長三五二二番
京城代理店 內國通運會社 電本一九、二一一〇番
光化門 二八六、二八五番

命令航路 上海行 飛行船 出帆廣告
新義州發新艺浦經由 上海行
十一月中 一日、五日、九日、十三日、十七日、廿一日、廿五日
但し寒氣加はり流氷を見れば直ちに休航致します
中江鎮行 六日、十五日、廿四日
（使用船）雄飛丸、飛鳥丸、さぎ丸、ありなれ丸かもめ丸はと丸こま丸
新義州常盤町（電話四〇八番）
合資會社 鴨綠江輸船公司
安東縣四番通 取扱所 小田代理店 電話六二二
北下洞 國際通運 代理店 電話九五七
鄭州 士砂代理店 電話五七九

京城日報

松島事件―一大展開か

上京した角南判事 若槻首相を審問

閣議後の官邸で 取調べ三時間餘

【東京電報】松島事件の審理が箕浦前相及び岩崎氏等の爆弾証言により急に局面展開し大阪地方裁判所の角南豫審判事は六日夜窃かに大阪を出發上京したが重大なる使命を帯びた角南判事は七日午後ステーションホテルに入り司法省と極秘裡に打合せを行ひ直に若槻首相と會見の手續きをとり豫算閣議の終るを待ち附近のタクシーより殊更に貧弱な自動車を雇ひ之に一〇八三六といふ警視廳の登録にもない番號をつけて書記一名と共に永田町の官邸に入つた、かくて午後三時五十分より三時間にわたり若槻首相の審問を行ひ午後六時十五分一應の取調べを了へた角南判事は自動車の記號を消し全速力で新聞記者の追跡を逃れたが間もなく本件の豫審は終結の模様である

取調を受けた若槻首相

首相語らず

一切の面會を避く

【東京電報】若槻首相は七日午後八時角南豫審判事の取調べ終了後記者の會見申込みに對し疲勞を理由として會見を拒絶せるも取次ぎを以て左の如く語つた

（問）角南豫審判事の取調べを受けしは松島事件の證人としてか又は参考人としての取調べなるや

（答）其の事につきては何事も口外するを得ぬ

（問）角南判事と再び會見することありや

（答）何事も言ふを得ず

（問）世上の疑惑を解くため是非共會見したし

（答）今晩は疲れて居るため失禮とて直接會見を避けたが既に一段落と見た松島事件も箕浦老の投じた一石により遂に三時間にわたり角南判事の若槻首相取調べとなり政局に大波紋を捲き起こし延いて政友本黨の當局との提携の交渉となり或は近く床次本黨總裁夫妻も再び取調べを受くるの情勢を醸し同氏の立場を悲觀し許さないものがある。」

豫審の終結が不能となる

角南判事が上京して首相を審問するまで

【東京電報】若槻首相が七日午後官邸で松島事件に關し角南豫審判事の訊問を受けた事は事件の局面に大變化を思はしむると共に一般政界に大なる波紋を描き非常に重大視され消息通の觀察によれば松島遊廓移轉運動猛烈なる當時箕浦氏は中央、岩崎氏は大阪府知事方面の運動を引受けてゐたが事件が表面化するや箕浦氏は罪を一身に背負つたが保釋後知己での態度極めて

昵近者

と意見を交換したる結果政治的關係の考慮よりも神聖なる司法權の發動に多少にても疑惑を抱かしむることありてはとの念よりその決心を固め自ら角南判事に松島事件の豫審終結前に是非とも一度證人として取調べを願ふ旨の上申書を提出

疑雲に包まれる床次總裁

せりといふその結果箕浦氏は大阪地方裁判所より召喚され氏の陳述は

保釋前

とは大なる開きある處に豫審の終結決定不能となりし處被告側の陳述を聴取せる後改めてかく首相の訊問をなせるものにて事件の進展は刮目される

豫審の進行上に大波紋を描かした

箕浦氏最後の陳述

政府側に對する疑惑起る

【東京電話】松島事件の豫審は箕浦氏の陳述によつて局面一新し箕浦氏が岩崎氏と共に事件の有力なる證人となるところによると高見之通等の諸氏は當時松島遊廓移轉の運動費を收得したるものとして一切の罪を負ひ當局に於ける如く陳述しその間に運動の全權ありとして運動費を收得したるも政府側に對しては何ら罪を受けるものでないといふ意味の陳述をなしたのであるがこれに對し

岩崎氏

は最初から當局に移轉許可の意思あつた旨を陳述しこの行爲が斷じて詐欺にあらざることを明かにしてゐたがこれに對し當時の内務次官や川崎現次官をはじめ高鈴木參與官その他府縣の許可の意思なかつた旨を陳述し移轉許可の意思のあつた旨を陳述するに至つたそれで當時内務大臣たりし若槻首相に対し

内意を

質したところ若槻氏は、この問題は第一府知事の權限に屬し、當該知事にして移轉を可とし許可の申請あるにおいては必ずしも不許可の指令はせずとの趣旨を答へたので箕浦氏はこれを當局に移轉許可の意思ある證拠として一齊運動をすゝめたものである、この結果、若槻氏に聞へて置いたとすれば一方川崎次官や政府當局側の證言とはこゝに齟齬を來すことゝなり

調書を

捕へて取調べ、更に今後の豫審の局面は箕浦氏最後の取調べとなるであらうといふ

床次氏の身邊疑雲に包る

僞證罪として起訴か

【東京電報】角南豫審判事の箕浦氏の取調べは頗る注目されるが若槻首相を参考人として取調べたが角南判事今回の上京は與政府側に對する方針を明かにする要務のみでなく詐欺罪、恐喝された政友本黨と秘密に關係につき重大なる使命を帯びてゐるもの

して受取つたる三萬圓に對し運動費として寄附すべき床次氏に申告したるにも拘はらず、床次氏は之をしらずと申立てゝたがその後床次氏が之を知り居る事が發覺したるため、この點を確める爲で次第によつては床次氏は僞證罪として起訴されるやも知れず床次總裁の身邊必ずしも樂觀するとは出來ないもの〻様である

陳述を翻した箕浦勝人氏

鱶糸局

新設に決定

【東京電報】七日の閣議で再復活要求されたもの〻内司法省の司法官優遇費、農林省の蠶糸局新設、官公營林費、遞信省の航空路設置費、航路補助費、海軍の艦艇建造等であつたが内、蠶糸局設置の件は多年の懸案でもあり必要やむを得ざるを以て承認に決した蠶糸局設置に關する豫算は八萬圓と決した

李王同妃 年内に御歸鮮

閔李王職長官歸來談

【釜山特電】李王職長官閔泳綺男は二十日朝の特急で北行したが氏は語る

今回東上したのは故李王殿下國葬の御禮に御用があつたが御機嫌御伺の爲め上京したまで、ある殿下はいつもかはらず頗る御健在にわたらせられ毎日軍務に御勵みあそばされてゐるが今年度の大演習には特に重要な御任務を帯びられてゐるので演習終了後その上で年内には兩殿下御同列で御歸鮮遊ばされる御豫定で未だ確定してゐないまた御帰鮮は春早々挙行されることになつてゐる

殖民地の補給金決る

朝鮮は約千六百萬圓

【東京電報】殖民地補充金は七日閣議で左の如く決定した（單位千圓）

朝鮮總督府	千五百九十一萬九千圓
樺太廳	百五十七萬七千圓
關東廳	三百萬圓
南洋廳	百八十萬圓
計	二千二百卅九萬六千圓

明年度の總豫算十七億三千萬圓

歳入不足一億六千餘萬圓

きのふの閣議で決る

【東京電報】豫算閣議は七日午前九時首相官邸に閣僚列席、若槻首相より先つ各省復活要求につき片岡藏相より大藏省において再査定を行ひその結果各省との折衝を經て査定を行ひたる結果各省別に説明をなし各省別の復活要求につき審議を進めたが海軍補助艦建造費につき、一次査定通り決定した、次いで陸軍及び鐵道より追加要求あり、北海道拓殖費、文部省の教育施設費その他司法、宇垣陸相より補助問題、各省大臣間に協議の上協定し、まづ蠶糸局を設置し航路補助等につき復活を承認することゝして審議の結果歳入不足額に對する公債財源につき、大體鐵道及び公債を中心に大藏省の方針を是認し大正十六年度減債基金繰入れ額を二千萬圓と決定した鐵道公債については更に大藏鐵道兩省の協議により財政鐵道計畫を傷つけざる程度において解決の途を見出すことゝし午後二時半閣議を閉會した、なほ當日の閣議で決定した十六年度一般會計豫算左の通り

歳入	
經常	十四億五千八百十二萬五千圓
臨時	一億一千百六十一萬一千圓
計	十五億六千九百七十三萬六千圓

歳出	
經常	十一億七千五百二十七萬圓
臨時	五億五千五百十萬三千圓
計	十七億三千三十七萬三千圓

歳入歳出差引歳入不足　一億六千六十三萬七千圓

歳入（單位千圓）地方税一二四〇〇▲臨時恩賜金受入九四九▲財産收入三三五▲使用料及手數料二、三九五▲前年度剰餘金一、五〇〇▲國庫補助金六、八五〇▲公債二三〇▲其他九一二▲消防費負擔金七五▲寄附金三〇〇

歳出　土木費五一九〇▲勸業費六二〇▲授産費一、二九五▲教育費七、六二六▲衛生費二、五九六▲社會事業費三、一五▲内務救濟……

若槻首相

緊急事項は殆んど容認

現政府の公債政策は依然緊縮方針

復活要求閣議を終へて

四日閣議に於て各省から提出された復活要求に就いては先づ大藏省は其當局に大藏省と各省とを通して之を審議した財源の許す範囲内で承認することゝした項を承諾することゝし、その方針の下に四の項目につき審議の結果、大體大藏省査定案通りに決定した、是も内も政府としては重要なものは承認した積りである、公債償還についても決して無理な事も述べてゐる如く政府は之に鑑み二千萬圓以上の財源を見出すことが必要であつたが、豫算の財源を見込むことは困難であるが、政府公債の関係で決定した

片岡藏相

一點非難の餘地はない

三千八百萬圓の節約は一種の行政整理

十六年度豫算が十七億三千萬圓に増加したのは今回剩餘金に依る公債償還の方法を新たに確立したため前の諸結果十五億四百萬圓と、新計畫に依る四千四百萬圓を加へて合計九十六億五十萬圓の償還をなし得ることとなる、從つて豫算の膨脹もその實質をみてもらへば決して非難の餘地はないと思ふ、次に緊縮となつてゐた行政整理年々の増額は五級以下六萬六千人に對して平均五千圓の割で合計三百五十萬圓を計上し、又義務教育費の増額は五百萬圓だけ計上することゝした、更に第二次行政整理は社會政策的意味を加味して減税を行ふつもりで大體方針は七日の閣議で決定したので不日閣議に提出するつもりである、又公債計畫は既定計畫を變更し

議會召集

廿四日に内定 開院式廿六日

【東京電報】議會召集期日は九日の閣議で決定するはずであるが來る二十四日召集し二十六日に開院式を擧行することに内定

人

▲北本謂治氏（京城）……

▲石村保治氏……

あすの天氣（九日）

豫報は　晴一時曇

	八日正午	七日最低
温度	一三、七	八、六
濕度	七〇	六

對山錄

商議工業部會　京城商業會議所では八日午後四時から工業部會を開いて家庭工業用電氣料問題に付臨時委員より調査を聽取の上研究協議する筈である

◇一般會計豫算の特色は、補助、補給および北海道拓殖問題解決の外剰余金二割五分を繰入れて公債を償還すること、それに本當に手半分を使つて五百萬圓を増額したこと

◇「方向ヘアー」といつた妙な手つきで見ゆる若槻式豫算である。

◇これは別だが、朝鮮の補充金も百萬圓殖えるよ。

◇角南判事が若槻首相を訊問したのです。

◇裁判官といふものは……

【大阪電報】三百八十四萬二千六……

鮮鶴　増田屋　京城　仁川

月經　特殊流經劑　レスノリン　月經閉止四五ヶ月以内に確實の流經作用を以て容易く安全に應用の目的を達する特殊の效力を有す　大阪市北區曾根崎上二丁目　發賣元　常盤藥院

らい病は不治の病ではありません。最新學理的治療法及皮膚病緑斗大阪、華陽堂病院長非凡博士御指導の最新薬「サルボール」の説明書を差上ます（一切御遠慮の御相談に應じます）　明製薬所

エプロン　子供服　通學服　メリヤス　小供用裁縫品　製造卸問屋　廣島二雄商店

専門ノ山下エ　小供クツハ　可愛イ坊チャン嬢チャン　丈夫ナアイジ靴　ゴム皮敷種　時代ノ要求ニ適ス皮製運動靴　徳用靴責任長靴及オバーシュス　テニス靴ニ限ル　スリッパ巻ゲートル　地下足袋　通學靴帯皮毛布類　各種卸問屋　大阪市東區博勞町心齋橋筋　山下芳松商店

メリヤスの御仕入は天満メリヤス競覺え　相場表は無代御申越は　現金問屋　野村英商店　大阪市北區伊保町

鳩居堂の最上エノグ　凡形　同　同　磁器入三号　鉄鉢入毎色　外ニ各種　京都寺町姉小路　鳩居堂

肺病ニ悩める友へ　カワウリのキモ　「全快の栞」　岡本幾太郎

消化器病ならば……

本年のワールドセリーズ戦に打撃四割四分で本塁打三本をくわつとばして新記録を作り本年シーズンの本塁打五十二本といふわが本塁打王ベーブ、ルースも晴れの舞臺に出るまでの幕合にはこうして夫人や愛兒のドロシー嬢と無邪氣に戯れてゐるのである（寫眞はルース君の家庭）

◇郵便貯金の奨勵については學務課と遞信局が協力して學校と郵便局から家庭へと互ひに連絡をとり奨勵に努めてゐるが本年四月實施以來九月まで小學生の貯金は預入口數卅一萬七千六百五十八口、この金額十六萬七千四百七十五圓八十四錢であつて此内五萬五千六百十七口の新規預入申込があつた

◇【大阪電報】東京市外巣鴨池袋の愛の隠家を引拂つて大阪に移住するといふ噂のある宮崎龍介氏と白蓮柳原燁子さんが身を寄せるといふ大阪市天王寺區上野町の元辯護士松本愛一郎氏の夫人鶴子さんは白蓮女史と龍介氏から來た十余通の手紙を見せながら語した『大阪に行きたくつて仕方がありません龍介だけは取りあへず行きます』といふ様な文句が先月二十七日付の燁子さんのお手紙にあるから私の方に來ることは確です燁子さんは京の生れですからこちらに來たいのは當然でせうそれに松本に辯事をやめろとすゝめたのは龍介さんですからこちらに來れば私の方に辯護士の看板をあげる様になりませう燁子さんもこの頃では病人の看護から二人の小供の世話でスッカリ世話女房になりきましてゐられます（寫眞は燁子さん）

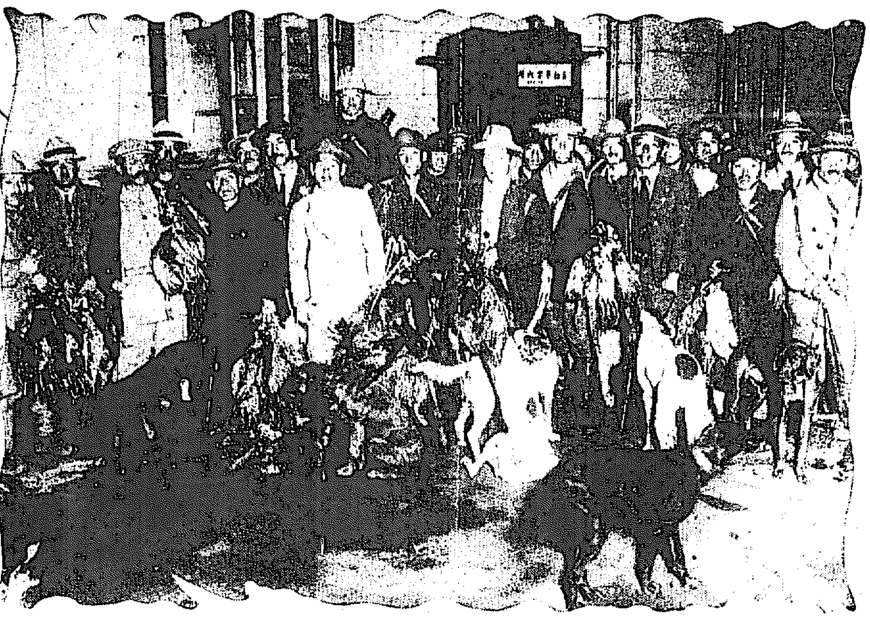
◇大田を七日午前八時二十分に發した第三列車が成歡平澤間を北行中線路踏切りに列車の通過を待ち合せた牛が汽笛に驚き線路を横切らんとするので牛を曳いた五十歳位の鮮人男はこれを引とめんとして人牛共に列車に觸れ人間は即死し牛は重傷

◇けふの公設市場小賣値段 ▲特等白米一升三十七錢▲一等白米同三十六錢▲牛肉ロース百匁六十二錢▲同上肉同五十二錢▲同中肉同四十四錢▲同並肉同卅二錢▲豚肉同五十錢▲鷄肉同八十錢▲卵特大十ケ四十七錢▲同大同四十二錢▲同中同四十一錢▲同小同四十錢▲大豆一升二十錢 小豆朝鮮同三十二錢

◇九日の放送 ▲ニュース▲天氣豫報▲時報▲童話（手向三郎）佐田至弘▲趣味講話（菊の活け方に就て）江畑顯之▲謠曲（隱岐院）金永吉水▲映畫說明（照る日曇る日）遺言の場中映館五月信夫▲長唄端唄氣毒迎中村名

今度こそ的確に目鼻がつくらしい
西大門署の活動によつて犯人の系統判る

西大門署は去る六日夜府内某洞から金永高を引致し高等係、法務係協力し嚴重取調べ中である右は〇〇射殺事件の捜査方針を一變した有力な嫌疑者で七日の日曜日早朝高等係は女學生一名を召喚取調べ夕方一先づ歸宅せしめた射殺事件の犯人捜査は漸く緒が掴まれてゐるやうであり以上の活動によつて眞犯人は北〇生れの金〇〇と認定されて來た、金〇〇は〇〇事件直前から〇〇洞金の許に止宿してをり〇〇團から分離して更に新らしい暴力團の組織に奔走してゐたものであると



獵天狗の勢揃ひ
獲物の山に鼻高々と競獵大會から歸る

朝鮮獵友會秋期總會は既報の通り七日京義線金村以北で舉行されたが會するもの五十名鐵道局は特に一輛借切にして便宜を計つたが中には驍興までも遠征するものがあつた七日午後九時京十分着列車で歸城 京城驛構内での獲物の中に並び天狗の鼻高々と山の様な獲物をもつて撮りヤジ郎を揃へ撮影（寫眞は昨夜京城驛頭に着いた處）

金剛山を支那に紹介
鐵道局の試み

北京駐在の總領事館竹谷書記官の斡旋で鐵道省では日本における有名な各地の風景寫眞を一ケ月にわたり支那各地で映寫し日本の支那紹介に努める事になつたので鐵道局でも金剛山の寫眞二千八百尺のフイルムを支那に發附し内地風景と同時に支那に紹介し支那旅客の誘引に資するさうである

強盜事件控訴公判
八日覆審法院で事實審理

成鏡南道咸川郡水下面里出身及び同郡利中里何川里の兩名にかゝる強盜事件は去る九月六日咸興地方法院で懲役八年に處せられたがその控訴公判は八日午前十一時から京城覆審法院第二號法廷で末廣裁判長係河村檢事立會の下に開廷されたが事件の内容は金夏源は大正九年十月頃支那間島長興縣で七道溝に本部を置く〇〇〇〇を標榜する國民團に入り大正十四年一月廿六日鐵線を渡つて咸鏡南道咸川郡惠山鎮方面から鮮内に侵入して端川郡水下面仲坪里外某里に軍資金と稱して金二千圓を脅かしたのを初め十四年一月卅日に至るまでピストルを用ひて脅迫、強盜を働き翌十五年八月龍井村の東號から上海假政府發行の公債及二枚の發給方を依頼されこれを携帶すれば嫌疑をもたれ危險を受けるのを恐れ兼而知せて端川郡水下面上里坪里中親から北間島へ買つた飯と金夏源の道案内などしたといふのであるが八日は事實審理のみで閉廷された

警察署長官舍に爆彈を投げつく
爆發したが被害なし
嫌疑者一名逮捕さる

【平壤特電】七日夜十時半頃平南成川警察署長官舍附近に爆彈を投げつけたるものあり爆發したが何等の被害はなかつた時節柄同署では非常召集を行ひ犯人捜査に着手し嫌疑者として同地朝鮮人一青年を逮捕し取調べ中なるも時局には何等關係なく左傾思想にかぶれてのいたづららしい、同爆彈は空罐に有煙火藥を詰込んだ極めて拙劣なものである

永田錦心氏辻強盜に逢ふ
自働車で追つかけ演奏謝禮金を強奪

【東京電報】市外千駄ケ谷町九〇〇錦心流宗家永田錦心氏は六日夜市外大井町寄席新大井館の錦心流演奏會に出演して歸途同夜十一時頃自動車で品川驛にかけつけ改札口へ來ると紋つき羽織の男三四名が自動車で追つかけて來て西田さんが（錦心氏の本名）先生に一寸用事が出來たから戻つて下さいといふので同乘すると大井町方面へ十分も疾走したと思ふ頃突然停車するや件の紋つき男運轉手および途中からも同乘の男が現れ五人で同氏を取圍んで謝禮金があるだらうとつめよつたので五十圓入りがま口を手渡すとまたも乘車せしめ大井驛近くまでくるとパクしたといつて同氏を下車せしめ逃走した一方錦心氏は翌七日午前一時品川にたどりつき自動車で歸宅しかくと千駄ケ谷署に訴へ出たので犯人嚴探中である

新名と姜は殺人罪で起訴
オートバイ競走が生んだ慘劇の加害者

去る九月廿五日午後六時といふまだ宵のうちに龍山鐵道踏切頭を眞紅に染めた慘劇—親分松本市松を護衛してゐるを新名智雄と姜聖吉が親分めがけてピストルを放つた府内初音町片山好忠を手にした伯爵で減茶苦茶に切り殺した事件はその後京城地方法院五井豫審判事の手で取調べ中であつたが八日いよいよ前記兩名を殺人罪として起訴した

五人組強盜
旅客を縛り上げて有金全部を強奪

六日午前一時黄海道松禾郡長陽面龍山里二三五旅人宿桂國譲（五〇）方に五人組の強盜が表戸を破壞して侵入し主人國讓をはじめ掠奪止宿中の旅客六名に食刀および旅刀を以て脅迫し嚴縛をもつてしばりあげ有金全部九十三圓卅錢を掠奪悠々として引あげた、同所はさきに長淵郡の駐在所破り事件に隣接してをり被害者の中に長淵面のものが三名もをるので黄海道警察部は躍起となつて捜査中である

鮮銀紙幣を大仕掛で僞造
咸興署で手をつけ京城の本據を衝く

咸興警察署では管内に朝鮮銀行十圓紙幣の僞造犯人檢舉に手をつけたところ、根據は京城にあることを探知し咸興署司法主任和田警部補は十數日に亘り僞造紙幣をもつて富豪連から一萬二千餘圓を詐取してゐる事實が發覺しすでに該僞造紙幣が一部流布されてゐる模樣でその根據發源地は京城であるとの事實を把握し京城本町署と協力して捜査中だが八日朝に至り鍾路署管内に有力な端緒を得たらしく同署警察と司法主任とが打合せ引續き活動中である

慶大雪辱す
2A對0で早大敗る
早慶野球第二回戰

【東京電報】早慶野球第二回戰は七日午後二時十五分より新田球場に開催された前日もろくも敗れた慶應にとつてはどうしても勝たねばならぬ試合であり元氣一ぱいの早大との試合は滿都の興味を唆る上に、秋晴れの日曜とて觀衆は二萬五千餘に達し殊に竹田若宮殿下御二方及び北白川若宮各殿下の台臨は競技の容氣を一層緊張せしめた感があつた。零時半兩軍共に必勝の勢をもつて觀衆の熱狂的喝采裡に入場、鮮かな練習振りをみせた後、球審大知（球）林、鈴村（壘）三審判のもとに早稻田先攻で開始された、兩軍のメンバーは左の如くである。

慶應	中(右)(投)(左)(一)(捕)(二)(三)(遊)
	上崎　井田　村田　新川　濱口　宮武　岡本　加村
早大	野本　井　永伊　水富　水原　井上　原

▲第一回（早大）森一ゴロ、前井ゴロ▲（慶應）楠見二飛、森遊撃右に強打して一壘に生きしも永井中飛、町田投手に直球を送つてやむ（兩軍零）
▲第二回（早大）氷室左翼に安打し伊丹のバンドに安打と二走者を出したが水原、富永、水上三振▲（慶應）野村遊飛失、岡田四球にチャンスを得たが本郷一壘に直球を呈して野村二壘に併殺さる。村川三振（兩軍零）
▲第三回（早大）水原（三）石飛、井口三振▲（慶應）町田より猶木四球直ちに二盜、森投前、上四球を得西川（ピンチヒッター）の三振と永井の遊撃失で三壘、永井二盜したが町田遊飛に止む（兩軍零）
▲第四回（早大）一死後伊丹四球を得たが水原見の投併で併殺▲（慶應）凡退（兩軍零）
▲第五回（早大）二死後水原第四球を得たのみ▲（慶應）村川投手足下に安打し加藤の犠打に進み村上左飛後西川左翼に安打し次いで永井の遊撃安打に村川、西川生還二點を占む（早大零、慶應二）
▲第六回（早大）森二飛後井口投手頭上を抜く安打に出たが氷室の投前に二壘に封殺され得點なし▲（慶應）野村左翼に安打したが岡田の遊撃直球に併殺。本郷遊撃に安打したのみ（兩軍零）
▲第七回（早大）無爲（早大原口プレートにたつ）▲（慶應）一死後楠上遊撃に安打し二盜したが二打者凡退（兩軍零）
▲第八回（早大）二死後森三壘に安打したが井口の二飛に終る▲（慶應）濱井（ピンチヒッター）三振野村遊飛失に二盜して刺さる。岡田遊飛惡投に生きたが本郷投飛（兩軍零）
▲第九回（慶應三村退き野村一塁手、楠見右翼手となる）早大氷室投前伊丹右飛、中津川（ピンチヒッター）三振し慶應遂に二A對零で雪辱した閉戰四時二十五分、インニングに依る得點左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
慶大	0	0	0	0	2	0	0	0	A	2
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

決勝戰は八日

一勝一敗の後をうけて決勝戰は八日戸塚グラウンドに於て舉行されるはずである。

帝大雪辱す
帝大6A法政3

【東京電報】帝法第二回野球戰は七日午後二時十五分より帥宮球場に於て安田安井兩審判のもとに法政先攻で開始、帝大は二回に四點六回に一點、六回一點計六點を得たるに反し法政は一回一點五回二點を入れたのみで結局六A三で帝大雪辱し四時廿五分閉戰した、バッテリー帝大東、清水、法政保野、鈴木、藤田池田

明日（九日）
▲長崎縣人會 午後六時本町二丁目松金

【大阪電報】第三回全日本庭球大會は六日七日の兩日大阪天王寺公園にて行はれたが第五回戰にて明大、早大對三高の對戰となり大阪...

大衆に開放された文學、藝術の殿堂
本社來青閣で開かれた城大駱山文學會の講演會

駱山文學會主催の文藝講演會二日目は七日午後六時半から本社來青閣に開催、城大の教授が初めて學校の講堂を出て朝鮮の大衆にその薀蓄を說くといふので大變な人氣で初日にも劣らず數百名の聽衆が押かけ中には内鮮の女性も多數見受けられた、當夜は豫科教授田中梅吉氏の「國民性の表現としてのドイツ文藝思潮」と城大教授佐藤清氏の「文學の價値」と題し約三時間にわたつて有益な面白い講演があり、ユーモアに富んだ佐藤教授の講演は特に聽衆を引つけた、兩講演の概要は次の通りである

田中教授　獨逸文藝思潮

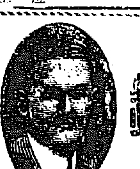
凡そ各國民には其の國民獨特の血が流れてゐて其の特異性が文藝に現はれた時、國民性の表現された文藝となるのである獨逸の國民性とは如何なるものであるか同じ獨逸でも北と南とで其の國民によつて其の相違してゐるそれは多く實踐として現はれる場合は自國になく先方にあり缺點として現はれる場合は自國に缺げて居る物が多いのである日本人の獨逸人觀は思慮周密にして沈着であるとか何とか言ふが其實獨逸は皆んな日本人の缺點であるしかし其の獨逸の國有性といふのは理知的でなく意志的で情的である、非常に情と意の強い國民である、だから透明を缺ぎ眞感的でなく神秘的で往々ローマンチックとなり物に憧れる心となる、だから獨逸

佐藤教授　文學の價値

世界の文化は三千年前先づエヂプトに始つた彼等は沙漠の中にスヒンクスを造りピラミッドを造りオベリスクを造つた、次はギリシヤで茲には彫刻が發達した。ギリシヤ人は形の美を好み大理石を以て自分の好むな形を作つた、しかし彫刻では他人の感情を入れる事が出來ない。ギリシヤ人は彫刻に滿足せず時世が下るに從つて三世紀には繪畫を生むに到つた、しかし繪畫は如何に藝術味が豐であつても結局は色である此れに慊らず現はれたのが音樂だ、斯る經緯を得て近代の文學が現はれるのでは音樂が最も愛好され、文藝では劇が好まれる。其の劇も眞ぐ判る寫實的のものでなく人間のもだへを超越してそれを突拔けんとする深みのある物である故にドイツに於てはドンキホーテは愛好されてもチャップリンの映畫は見向かれない

序となつて來たものである。文學と言つても種々ある、先づ第一は何でこれは我々に物の觀察力を強くせしむる利益がある。尤も一晩に百句位作らなければ駄目だ。短歌、これは自分の感情を表現する物で思つてゐる事を歌ふのである。長詩、複雜な氣分を表現するもので或る時の實感を長詩に現はす十其處に價値がある。以上はしかし一本道である一筋の感情を現はすものであるがモット高尚な文學ではその錯綜を二つ以上の感情潮流には先づ感情を織まぜて現はす。其ゆる感情を取り入れられて我々の前にブッ付けて來るのである處に文學の價値がある。されば文學の價値とは何か價値は道德ではない、我々のあゆる慾望をヨク耻されずに滿す力、我々の慾望を整理する力、其の慾より多數の慾、ツマラヌ慾より高尚な慾に價値ある事もまたいふ迄もない。

世界救世軍のブース大將の講演
中西淸一氏
連絡郵便飛行
釜邱庭球戰
慶北教員庭球



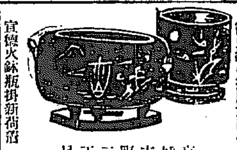
慢性胃腸病に
デブース氏錠
今晩のんで明朝の容体に御注意
各地名藥店にあり

帝國地質圖 朝鮮共
内地鐵道郵便線路圖 六圓
朝鮮遞信地圖 一圓五十錢
五萬分一其他各種地形圖
朝鮮沿岸雜川海圖
販賣所 京城長谷川町 小林又七朝鮮地圖部

明治の如く 第一號品
FIRST 1 REGISTERED TRADE MARK
ファストメリヤス 靴下

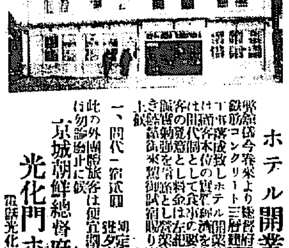
東京日本橋元濱町 製造元 高政商店
月刊 高政商報
取引御希望の方に限り店名御記入御申込毎月送呈

頭痛に川鹿ノーシン



御火鉢の御用意は今
宜德火鉢瓶掛新荷着
京城本町二丁目 石川物産商會 電話本局一八一八 振替京城二六二〇

◎御正月の御用意
御紋付の御注文は今
御注文は福井物産へ
○鹽瀨羽二重黑紋付別染 自四十九圓至二十圓
○紬 黑紋付別染 自二十六圓至十六圓
▲生地見本は御通知次第差上げます
▲御用命は三十日間以內に
京城本町二丁目九十八
福井縣物産商會 電話本局二五四七



ホテル開業
鮮銀前廣場總督府新廳舎前に鐵筋コンクリート三層建新築中の處工事竣成致しホテル開業仕り候間此の前後には洋室各本位として食事は不要の御客は何時にても泊り御應じ申候而も料金は比較的の經濟的經營とし一般に御利用下さる様御願ひ申上候
一、間代一室　六圓　定食
此の外園遊會其の他宴會及び旅客は便宜割引可仕候
京城朝鮮總督府新廳舎前 光化門ホテル 電話光化門二〇五番

開店披露
今般二葉洋行の名儀にて左記場所に開店いたしました種々優秀な品が皆様を御待申して居ります何卒御引立の程偏に御願申上ます
營業科目
各種樂器　各種蓄音器及レコード
各種運動具　其他附屬品
來ル十二日ヨリ向フ五日間開店自祝ノタメ赤札付特價デー開催（既ニ豫約品多數アリマスカラ品切レセヌ内ニ!!）
京城南大門通一丁目（漢城銀行前）
二葉洋行 電話光化門一〇九二番 振替京城五三四〇番
諸樂器 蓄音器 修理部

朝鮮炭中の最良炭
咸興炭は燃燒後木炭代用
過般來着炭量少き爲め皆樣へ御差支へを煩しました處貨車廻りも能くなり每日新炭續々到着して居りますから御用命を願ひます
京城林町一九〇
咸興炭販賣所 西川商店
電話 本局二四一一番 本局三四〇〇番 光化門四〇五番
煤煙の出ない咸興炭
最も經濟家庭用石炭

府議戰の形勢

仁川　内地人側十三名　鮮人側八名

【仁川】仁川府協議會員の總改選はいよ〳〵あと二週日に切迫して來たが、日和見狀態から候補戰線突破と戰線漸く熟するに從ひ、人氣益々白熱化し、今やまさに戰ひの本舞臺に入り、候補擁立運動は各所に演ぜらるゝに至つたこゝにおいて旗幟明かに立候補を聲明せる

平山松太郎、美濃谷榮次郎、河野竹之助、藤井八重藏、力武嘉次郎、後藤連平、丹羽茂三郎、の七氏を始め、新顏の吉田秀次郎、村田幸、野田米吉、河合律三郎、今村堯次郎、内海淑郎を合せて十三名は確實に動かざる所で、他の諸君は遂に斷念した模樣である、しかして鮮人側は六日金融組合樓上で有志懇談會を開いた結果左記八名を公認候補として推薦することになつた

張錫佑、朱命基、金允福、鄭順澤、金相勳、李彥馨、孫亮漢、李東雨

かくて大勢すでに定まれるが如きも選擧界の常態は往々にして意外の番狂はせを演ずること少しとせず、かつ直下、豫想を裏切り、意外の番狂はせを演ずること少しとせず、かつ安永淳、金昌永、鄭世澤、柳昌遜の諸君が出馬を斷念するか否か疑問なるのみならず内地人側でも、期日間際になつて、疾風迅雷的に奇襲を試むる猛者が現れぬとも限らぬので、いよ〳〵蓋をあけるまでは何とも斷言がなるまい

大邱　候補者の顔ぶれ　競爭白熱せん

【大邱】大邱府協議員總選擧は來月二十日を以て施行する、期日の切迫につれ表面なりを鎭めて自重した候補者も他に機先を制せられては形勢不利とあり後援者等から出馬をせうやうされた結果馬を陣頭に進めたものは

▲大平德三郎氏　穀物市場を背景とし堂々名乘りをあげた

▲鈴木寅氏　今春學組議員選擧の際は立ちをくれのため遂に斷念した關係もあり今回はいよ〳〵出馬することに臍を固め

▲加藤一郎氏　土木關係後援筋から押されてやうやく多事ならんとする府政のため一肌ぬがんとし

▲立木要三氏　關係方面及び大八無盡會社側のせうやうあり出馬に決し

▲伊藤吉三郎氏　多年培つた土木關係の地盤に立脚してこれまた返り新參の武者ぶりをみせるといふことであり

▲森浦吉氏　武尾禎藏氏、背木重信氏、中江五郎平、古谷治邦氏、小口雅氏、松本誠一氏等何れも出馬說あり

鮮人側は目下中には起否の分野も鮮明となるべくなほ鮮人側では韓翼東氏、徐丙櫟氏その他あり何れも定員數を超過してゐるから今回の府議選擧は白熱の競爭激烈を見るであらうと

鎭南浦　七名を公認す　鮮人側大會

【鎭南浦】府協議員の選擧期も近づき鮮人側が有權者大會を開いたので内地人側も挑戰を受け所謂町では町内より公認候補者一名を出すことゝなつたがその推選條件として町費を多額に負擔せしむることを申し合せ有志は町内の現議員鄕原總一氏を訪問して先づ町費問題を持ち込んだ由であるが同氏は確固たる地盤があるため拒絕したので公認問題を話題に上せずして物別れとなり第二候補者として南部や一氏を推す由である、現議員中田氏も本春就任せし果實同業組合副長の方が多忙の故を以て再起せずと聲明して居るも鮮人町方面での人望家でもあり周圍の推選如何で再起するものと見られてゐる、結局現議員も形勢觀望中であるが近く聲明するものと見られて居る、新顏としては鷲島英次郎氏、河村國助氏の呼び聲もあるが一方府議選評議員や鈴木會頭を推さんとして居るものもある

◇鎭南浦朝鮮人有權者大會は六日午後七時より金融組合にて開催されたが林鎭郁議長席につき各有權者の意見を纏めまづ詮衡委員十名を選擧し委員は十四名の候補者を選擧したが更にこの十四名中より左記候補者七名を公認と決定した

林炳日、馬駿坤、吳中洛、李根軾、全洛源、韓定鎬、李爾燮、張明龍、崔永用、林利仁、金昌玉、吳誠玉、新聞支局員

元山　なほ一名足らぬ　平靜か混戰か

【元山】目睫の間に迫つた元山府協議員の改選について七日までの運動狀態は、未だ白熱化をまじゆるまでの緊張を呈するに至らず、定員十六名に對し、すでに明かに立候補を聲明し堂々の陣を張つた者は、既報公友俱樂部の島居千三郎氏に次いで、矢張り同俱樂部推擧の小野文吉氏、および大分縣人同志會陽地洞町内選擧組合を背景にして立つた長野長藏氏の三氏のみであるが、陰に出馬すべく現に内々運動を試みつゝある者數氏あり、結局現在までに立候補確定の者は内地人側にありて

島居千三郎（現）小野文吉（現）長野長藏（新）杉野多市（現）矢野榮作（現）新谷新七（現）北谷德市（新）伊藤武（新）岡井甚三郎（新）

の九氏あり、朝鮮人側は一昨日前より各六名づゝ、即ち南部有權者大會を開催して、南北兩部の六氏を推薦し、結束して必勝を期すべく申合せた、かくて十六名に對し、今の所十五名の立候補者あり、一名の不足なるも、なほ形勢を觀望しつゝ、しかも野心の鋒持たるもの二三氏ありといへば、少くとも今一名或は二名の出馬を見るやも知れず、結局一二名の定員超過を見て、意外の混戰を見るべく豫想されつゝあるも目下の狀態は頗る無風無聲の觀を呈して居る

内外の粹を蒐めし全南の二大共進會

いよ〳〵十一日から開かる　人氣沸き返へる木浦市街

全南物産共進會主催の下に木浦で來る十一日から廿五日まで全南物産、朝鮮物産共進會と大敎育品展覽會、大衞生展覽會とが開かれることは既報の通りであるが御都合全く成り開會もいよ〳〵來る十一日に迫つた、今會期を一瞥するにその壯觀眼も絢なる會館は次ぎから次ぎへと甍をならべ中央の大噴水は五彩の紅を吐き周圍の盛裝につりて裝飾そのものである館内は色取り〳〵のモスを以て裝飾をなし出品物もすでに陳列を了りその概要を眺つてゐる、今その概要を示すと

第一會場　朝鮮物産共進會

進會館（百十二坪）全羅南道物産共進會本館（三百坪）參考館（八十坪）參考別館（廿八坪）勞働館（六十三坪）光州館（三十坪）濟州館（五十坪）新聞館（六坪）演藝館（五十坪）迎賓館（二十五坪）飄食五千圓、休憩所（二十五坪）經濟塔（經費二千五百圓）賣店場、特別休憩所（二棟）吸煙植物園、大噴水（經費二千圓）賣店（五十軒）

第二會場　水族館（百四十三坪）

衞生館（百八十一坪）教育品館（二十坪）宿直室（十二坪）水族食堂（十二坪）賣店場（二十一坪）商業獎勵塔で、右は何れも新建であり主要建物は建築仕上の堂々たるものでこれまで他に類例のない所である

あるのみならずその結構の雄壯規模の大なることまさに内地の大博覽會にまさるとも劣ることはない、實にすばらしいものである

出品物　一萬五千　光り輝く特産物

出品物は普通出品一萬二千點、參考品約三千點何れも内外の粹を蒐めたものである、特に工藝物に逸品ぞろひ文化の程度を如實に示すもので何れも觀覽者を一驚せしむるに充分である

審勢館　各府郡島の府郡

の陳列を如實に示した明鏡である一府二十二郡中動力を用ゐざるもの五郡だけで他は皆動力を利用し飛行機、汽車、汽船、自動車等人形操縱技を動かす仕掛でその内容は蓋を明けるまで絕對秘してあるだけ頗る興味多いものである。

水族館　水族館は第二會

場の花形で第一會場の審勢館と共に本共進會中の人氣者である、魚貝類はタヒ、ヒラメは勿論、大はフカより小は細類に至るまで實に九十六種を算し深海における魚族の棲息狀況を目のあたりに見せることであるから、大人氣を呼ぶことであらう。

汽車の增發　汽車汽船賃割引

十一日から三日間觀覽者殺到が來て共進會を應援し兼て海陸思想普及に資することになつてゐる

朝鮮鐵道局ではこの二大共進會の期間に特に太田の發路引率を木浦間に運轉させるため列車を增發し、木浦松汀里間四往復、木浦裡里間一往復、木浦松汀里間四往復の臨時列車を運轉する外十人以上二十人未滿の團體觀覽者には乘車賃の二割を、二十人以上の團體觀覽者には三割を割引いて便宜をはかることになつてゐる、その他汽船も二割乃至三割

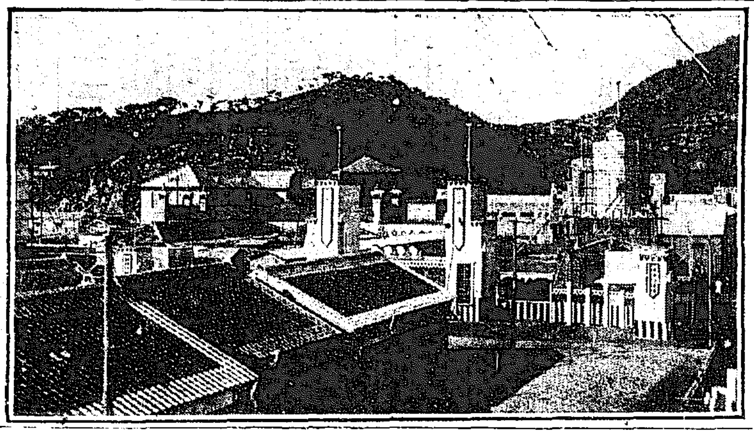
衞生展覽會　好評を博せん

を割引くことになつてゐる。

大展覽會は經費二千余圓を投じ女學校舍階下全部を使用してやるものである、衞生展としては頗る大なるものである、内容又充實してゐるやうだからこれまた好評を博するであらう

各種大會　共進會を機

とであらう會に十數種の大會が矢つぎ早に催されるといふことであるから賑合の幕を切つて落したら全市を擧げて歡樂の巷と化し府民は漸々とクライマックスに導かれることである



竣工した全南共進會（第一會場）

陜川居昌間は朝鮮一の惡道

數里に亘つて五分の一の急勾配

【釜山】慶南陜川の郡狹たる郡山里邑内間の難工事は當局郡に四周の援助によつて約二萬圓を投じ近く開通の運びに至つたが、一方陜川の裏側、卽ち居昌、咸陽方面と陜川居間の道路が五分の一といふ勾配を有しその上極めて不良なため居昌方面より陜川に入るべき貨物は悉く慶北金泉を迂回して運搬さるゝが如き奇觀を呈してゐる、斯くの如き狀態では、何時までたつても陜川附近の繁榮は望まれないとて同地郡民は決議を以つて陜川居昌間聯絡道路の改修促進の件を五日の慶南評議會に提出したので、評議會では滿場の結果これを同會の決議として道當局に要望することになつた陜川側有志は、二等道路で五分の一の急勾配を有する道路は恐らく世界に類例はあるまいと主張してゐたこの點に關し道關係土木課長は語るこれは寺内總督時代に應急的に造られたもので地方民の不便は全く同情に堪えない、元來陜川居昌間の道路は十里位であるが、其所謂惡道と稱する五分の一或は、六分の一の勾配ある所は二三里の間である、しかしそれを改修するとなると勞力金錢の修理を施さねばならぬので、どうしても六萬圓はかゝる當局でも同地方の不便を察し、成る可く來年度の豫算を以つて實施したいと思つて、半月前から調査せしめてゐたが近く調査を終つて五日歸つた次第である

自動車萬能で運轉權利の奪合ひ

認可申請書の殺到に係官は選擇に困る

【釜山】慶南奧地の開發に伴ひ、鐵道の便なき所では至るところに自動車事業が勃興し、われ勝ちにその權利を得んと種々な理由を附して申し出で來るが慶南道においても他地に劣らず毎日〳〵新たな認可申請書が當局に舞ひ込んで來てその取捨選擇に係官を惱らしてゐる、その中の殆ど七八歩は不認可となつて突き返されるもので見るのだが、それでも本年六月以降新たに認可になつたものは

支介―松谷　背屯―蔣山　固城―文山　長水浦―玉浦　馬山―昌原　平山―知足　昆陽―辰橋　咸陽―柏田　昌寧―高岩　密陽―守山　居昌―陜川

以上十一ケ所の定期運轉が許されてゐるが不許可になつた事もあり許可になつた事もある

猩紅熱はこれから

希望者には豫防接種をする

【平壤】平壤においては現在猩紅熱患者が二百名あるが毎年今頃から流行し多い年は百九十名も出したことあり種々研究の結果昨年猩紅熱豫防接種を試驗的に希望者に限り實施したがその效果が頗るよいので今年は現在の外一名の患者も出さぬ方針で六日道衞生課と府廳とこれが豫防法を打合せ近々府内各官立學生一萬一千名に對し豫防接種を實施しなほ希望者にも豫防接種をなす事に決定府内各その他細部にわたる打合せは追つて近日中に開催決定のはず

改良竈の製炭獎勵

三分の增收

【平壤】平安南道産業課において昨年陽德郡の地方發展を機械において試驗的に改良竈による改良製炭の敎習をなしたる結果頗る成績良好であつたので今年は价川方面の民有林從來の製炭者にこれが敎習を實施してゐるが從來の分止り八分に對して改良竈によれば一割一分で三分增收なので附近の製炭者は自ら進んで改良竈に改築しつゝあり道の方針としては道内製炭は全部改良竈に普及する計畫で年々道内消費高に對して製炭に不足をつげて居た四十四五萬貫位の增收はこゝ二三年で出來將來は道内一ケ年消費高三百萬貫位は優に供給出來る見込であると

素晴らしい内地の電氣事業

附＝支那服の流行　岡見滿電安東支店長談

【安東縣】電燈不能から動力不能にうつり行く滿洲の爲に内地の電氣界視察を命ぜられた滿電安東支店長岡見正治氏は四日歸任し左の如く語る

東京靜岡岡崎京都廣島等の電氣事業視察と木曾川上流の發電所を見學して來たが長野から名古屋に至る名勝探勝の床に七ケ所も發電所があるが何れもトンネル式で大山を突拔いて水道を設けてゐるから少くも風致を害さず然も自然を征服したるより外にみなかつた信州の山奧まで文化に浴し日本は津々浦々までも文明の氣がたゞようてゐるそして大資本は小會社の買收に努め小資本は大會社に對抗しやうと云ふ共同に互ひに競爭が續けられ内地の不景氣挽回の光明が歷然として氣持がよかつた電氣界も萬能時代で相當研究も準備もされてゐるが未だ步調を一致にするまでには行かぬ模樣だ話は違ふが内地では支那服の流行は素晴らしいものであつたこれは日支親善から見ても惡い事ではあるまいが生來大足の日本婦人が支那服で得々としてゐる樣は隨分滑稽なものだつた

武道大會

【安東縣】安東縣警察署の演武場增築工事がこの程竣成したので安東武道會支部はこの演武場で秋季消線武道大會を開催すべく計畫を立て目下準備中であるがこの催しは全安東軍と滿天鐵道會む安奉線の聯合軍が對抗戰を演じるといふ空前のもので多分本月廿八日頃となるらしい

武道の方は、安東においては至極の競技とする營業者として何等許可に對する主義方針の一定したものはないが道路の破壞を招くおそれある場合、或は合には絕對に許可せず、殊に、經營者の人格に對する非難ある場合には絕對に許可せず、殊に、營利的經營をなした者は直に認可取消をする方針であるといふが自動車の開通した爲にかへつて惡道がよくなつたといふ話もあるのでその點は考慮されてゐる

數十尺の櫓燃ゆ

瞬く間に消しとめた　釜山の消防演習

【釜山】釜山消防組の秋季演習は既報の通り七日終日にわたり舉行せられた、この日午前八時、けたゝましい警鐘が龍頭山の望樓をはじめとして市内數ケ所の警鐘台から鳴り響くと、各支部の消防手は自動車ポンプ或は水管車を走らしサイレンのうなりも勇ましく大廳公園に集まる、かくて一同朝食をしたゝめた後、全鮮鑑鑑の下に閲列本部總監は小宮消防組頭始め、警察署長等を先頭に入場、服裝、器具、機械の點檢をなし續いて行進ラッパの音も勇ましき徒步分列行進ありそのあとにはガソリンポンプ水管自動車、ホース車がわたちを揃へて分列に從ふ樣は壯觀のあと著しきものがあつた、それより繼續なる放水演習は一通り濟ふと、突ッ!突!一際にしつらへた數十尺の高き櫓に火災おこり見る〳〵うちに火の手をあげむとしたが敏速なる活動に六臺のポンプは一齊に筒口を切つて突つかけまたゝく間に消しとめ、その鮮秀なる新型の威力と消防手の熟練とを現實に示した、かくて全鮮總監閣下に閲本部長の講評あり梶山武器部長は官民の熟練なるに感嘆し府尹の挨拶の後山鮮組頭の講評があつて一同晝食して消防隊、自動車ポンプの順序にて放水演習をなしつゝ全市を行進し、かつ數萬枚の火防宣傳ビラを各戶に配布し非常な好成績をもつて午後七時頃散解した

鐵道リレー

自軍選手動靜

【光州】光州自轉車競技會主催の鐵道踏破リレー自轉車選手竹内俊夫氏は七日木浦發八時光州着市内を一巡し十時發列車にて羅陽に至り引返し十二時光州發大田に向け出發した

滿洲問題の急所は一つ

東亞勸業公司をやめた佐々木元專務の話

【釜山】東亞勸業公司專務の要職を自ら辭して、今後滿洲問題の遊說として余生を送らむと歸國の途についた佐々木藤太郎氏は七日朝釜着、官民多數の出迎へを受けてホテルに投じたが、氏は往訪の記者に語るやう

僕が辭任

することは何も今更らの問題ではない、本年五月、東京に於ける重役會議の節既に辭任を申出たのであつたが、重役と東拓と關東廳などの間にどうも僕の後任のことや、公司の方針等に就いて意見の一致を見ず、その爲に在寄今日まで延任されてゐたワケであるが、今度僕の後任は、滿鐵から一人の代表を出し東拓の小田君と共に代行することに決定して、漸く僕の辭任が叶つた次第である。辭任の理由か？別に深い理由はない、總ては滿洲に於ける

商租權の

問題に端を發してゐる、既に御承知でもあらうが、公司では約二萬人の鮮人を收容して興農を圖つてをり一方では鮮人に對して相當な金融もやつてゐる、然し乍ら商租權の確證が出來てゐない爲に鮮人等は折角借りた金でも目的な土地の方に使用することはなくてみんな結局は公司に返却すべき金の出所に困る、そこで吾々が如何に成績を擧げんと力んだ所で貸金の回收は商租權問題を解決しない限り難しい、その爲めに可成りの缺損が出來た、かうなつて來ると

高い俸給

を貰つてゐる僕なんかは實に苦しい、そこでその缺損を幾分でも補ふつもりで辭めたのだが、かう整理をたつて自由な身になつて見ると氣がのんびりして氣持がいゝ、商租權問題を解決する鍵は三つしかない、その一つは普通の圓滿なる外交手段に依つて解決することゝ一つは（以下二つは特に秘す）之れさへ斷行したら何でもない話だ、こんな浪人になつてこそ始めて解つた話だが今度京城に降りて二三日滯在するうちに今度滿洲問題でどこを突けば解決するかといふ急所はタツタ一ケ所しかないといふことを發見したよ、凡ては

浪人の眼

に映る、自分はもうこれからは滿蒙の爲に一身を捧げる覺悟である、所謂鮭の切身をかぢり電車にぶらさがつても滿蒙の開發には奮鬪するつもりだ、總選擧に打つて出るつて云ふのか？、そんなつまらぬ事を思案してゐるより滿洲の問題にでも骨折つた方が遙かに興味がある

商店の醫者　清水さん

仁川でも講演

【仁川】鮮滿商店界、殊に長崎清水氏は滿鮮各地で商店の經營、商店の經營改善等につき講演乃至實地指導を試み多大の好評を博してゐるが、仁川においても是非一場講演をとの聲に十日午前來仁、午後六時より公會堂において講演會を開催することになつた、因に右講演會は府、會議所の主催で、何人も無料聽講出來るが、特に商店の人々にとつてはきゝのがしてならぬ講演である

既に定員超過

浦項の面議戰

【浦項】浦項面協議會員の改選期は期日近づくと共に漸次激戰となる模樣である定員十二名中すでに立候補を聲明した者内地人側より前議員大内大郎、福島伊平、田中貫、落合治兵衞の各氏、新顏で北村文次郎、岡本利八、大上留雄、北川利八の四氏以上八名は第一區に、第二區に北部方面より張寓俊氏浦項より崔精甚、朴允全、金斗令、金十河の五氏出馬するもの如くこの外に二、三の希望者ある模樣ですでに定員を超過する現狀であるから期日切迫と共に白熱化すべく各候補の參謀連は秘術をめぐらし運動員は猛烈に活動して居る

この外にも一名出馬する模樣で形勢を觀望中である

上仁川郵便所

開業披露宴

【仁川】上仁川の發展と共に同地方住民の熱望措かざりし上仁川郵便所は遞信當局の調査審議の結果いよ〳〵十一月十八日付を以て設立認可の指令を發するに至り十一月一日を以て事務を開始したが七日は午後一時からその開業披露として竹見に關係有志數十名を招待して祝宴を張つた、一同着席と共に阪口所長挨拶を述べ、石橋郵便長の祝辭、來賓代表祝辭あり同三時散會した

秋季射擊大會

【仁川】在鄕軍人仁川分會では既報の如く七日午前九時より富川郡多朱面の陸軍射擊場において秋季射擊大會を開催したが、この日秋晴れの絕好な射擊日和に會する者、會員はもとより來賓青年團少年團等百數十名におよび二百米の競射を行ひ、優勝者にはそれ〴〵賞品を授與し終つて神前の折詣を祝し酒をくみ和氣靄々裡に午後三時閉會した（成績後報）

金泉消防の高崎組頭勇退

後任は星野氏

【金泉】金泉消防組は過般組織以來組頭として盡力した高崎組頭は今回勇退することゝなり後任には星野光勉氏を推し組頭に推薦する模樣である

忠南財務會議

【公州】十二十三の兩日忠南財務主任打合せ會を開催、出席者は十四名である

在鄕軍人射擊會

【鎭南浦】在鄕軍人會では七日午前九時より射擊場において秋季射擊大會を開催したが今回は初めての催しにて參加者も多く午後五時終了一等より十等まで賞品の授與があつた

【茂山】在鄕軍人分會秋季射擊會は七日午前八時半より開催され先七十余名の會員は射擊に熱中し午前九時より茂山守備隊射擊場にて實彈射擊をなし午後二時より神社にて射擊審判式を擧行二時半より演武場において慰勞宴を開いた

牛と心中

七日午前十時二十分頃平壤驛構内で機關車が不意に轢死した、折柄踏切前に佇立せる牛を金鍾西（二三）が引き出し引とめんと一生懸命に綱を引ずり出されるに至りへんとする刹那牛は機關車に飛ばされ金鍾西は頭部と左腕に負傷をなし線路下に轉落即死し牛は死に至らざるも胸部に負傷し折りて屠殺所送りとなつた

光州秋季武道

【光州】光州秋季武道會主催にて光州警察署では部員および警察官以下の武道試合をなすことゝし十一月二日より十六日まで光州警察署演武場において毎日午後二時より一時間づゝ稽古を行ひ

大田忠魂碑除幕式

官民二千名參列して　秋晴れの七日午後擧行　時ならぬにぎはひ

【大田】大田忠魂碑は明治四十二年韓國に駐屯した步兵第四十七聯隊の將士中戰死或は病死せし英靈を永久にとむらふべく聯隊營所の校庭に建立せられ後聯隊組合地に移築されしものであるが追年佐藤在鄕軍人分會長が發起の下に大田郡外隊本部用地の丘陵に在鄕軍人分會、第三大隊、大田官民有志の絕大なる努力にて改築され秋晴れの七日午後〇時半より除幕式が擧行された、朝田二十師團長、八十聯隊長代理をはじめ第三大隊、在鄕軍人、各學校生徒、官民有志二千名參列、藤山神官の修祓に式をはじめ佐藤在鄕軍人分會長、朝山第三大隊長、白石大田郡長の祝詞あり朝田師團長以下玉串を奉じ一時半終了祭儀を極めた、かくて一同神酒をくみ交して散會し餘興に大角、劍舞、神樂、富士家踊等の餘興に時ならぬ賑はひを呈した

修養團講習

成南修養部で主催

【咸興】咸興修養部では兵事々務講習會員を招集し併せて修養團講習會を左記の通り開催するはずである

▲會場步兵第七十四聯隊

▲期間自十一月十八日午後六時至廿一日午前九時

▲朝の行事、起床、體操、冷水浴、遙拜、靜座、朝飯、朝食

▲晝の行事、講演、遊戲、美化運動

▲夕の行事、夕食、神樂舞、感想及懇談、靜座、朗誦、遙拜、就寢、消燈

會員は白色運動衣若くはシヤツ上下、運動靴若くは地下たびを着用しタオル二本を攜行すべく約五十名

修學の旅から

大田高等女學校　外山かをる

内地の汽車は狹い、しかし窮屈とも感じなかつた、今日は天長節日なので、小さい生徒が紋付を着て登校する、秘に私達にもあのやうに可愛いゝ時代があつたと思ふとなつかしい、行く所、行く所皆私には初めてである、赤い瓦、屋根も珍しく、はじの木等も美しい、汽車は山を越え、畑々過ぎ町を通つて進む、海が海がといふ聲に急いで窓より首を出す、瀨戶の海が浮かんでゐた、しかし直又山道にいつた。

三田尻で三十分餘車を向ふの方に瀨戶が見えた、少し行くと又海が現はれた、海には島が多かつた。戶田驛の近くはトンネルばかしの樣な氣がした。福川驛の邊りは鹽田多く、下松を過ぎた海岸は背松ながく續いてゐた。

小瀨で宮島に向ふ海にはくらげが多かつた、嚴島神社を參拜し附近の公園などをあるきまはつた、いろ〳〵の色をした紅葉は赤ちやんの手をひろげたやうに小さかつた。

翌三日海上から宮居の松にもやのかゝつて靜かにねむつてる頃、私達は起きた。紫に匂ふ島山を後に宮島に向ふこれから京都に向ふのです。

地方集會

◇中村院長披露宴　郵便局長中村富一氏は鎭南浦分院長として九日午後七時鎭南浦官民有志を招待し披露宴を張る

地方人

◇佐々木藤太郎氏（元東亞勸業公司專務）七日朝釜山着入京の途にむかふ

◇佐川郵氏（忠南警察部長）官江法務川崎氏公州へ出張

◇芳賀文三氏（同財務部長）府郡の爲め四日から秋季巡視出張

◇竹尾公州地方法院長　公用にて八日出張　一週間京城及び東京方面へ出張

海外ニユース

スペインではリベラ將軍の内閣を後援する爲めに組織された最近の民意投票に令嬢達も勇敢に投票所に出かけて行つて淸き一票を捧げてゐる

二つの美術展
―虹原社と龍中―

會場難で永い間開催を遲延させてゐた虹原社もいよ〳〵六日から蓋を開けた、可愛想な總督府に缺陷がある爲に洋畫部の陳列などは悲慘なものである。總督府の會議が展覽の陳列を許さなかつたといふのがお役所の仕事といふものはさつぱり氣が知れない、展覽の目的も虹原社の目的も何等變りがないので事務上の都合で一枚も貸せぬといふのは組織に缺陷があるのである、龍中も借りに行つてえらい權幕で撃退されたさうだ。その一枚を借り出せなかつた爲に多數な人の繪が如何に悲慘な結果になつてゐるかを痛感した。

◇

虹原社と龍中の展覽を見ると半島の美術界が如何に急速な進歩を續けてゐるかに驚く、まづ虹原社では東洋畫部に半島畫壇の雄が集められてゐるがどうも製作氣分に缺けてゐる、僅に大智長郎、長田正雄といふ人の諸作が誠意を示してゐる、然し松田氏も加藤松林氏のもののやうに輕い疲勞を見せてゐる。（加藤君は旅行疲れがある）池田勝山、奈須雅峰、秀惠、鮎非諸氏の諸作も進境は見せてゐるが、斯うして多數陳列して見ると、もう少しは他處行き氣分のある作品もほしいと思ふ、數を多くすることより質を高くすることは誰でも知つてゐるが誰でも忘れたがる。

◇

洋畫部では參考室に藤田、和田英作氏父子、小林萬吾、南薰造氏等諸大家の作が見える、和田さんの『ばら』は若い者には不足ではあるが感心させられる、會員として新にこの部に加入した美術家諸君の諸作は中央美術展に出したものもあつて會堂の中で輝かしさを保つてゐる。伊藤秋畝、木村信吉、大庭榮五郎、阪山隆太郎、秀惠、の諸會員の作も油の乘り切つたものだとはいへぬ、女流四方順子氏のものは水彩としてよい方だと思ふが數點の中には大きに不出來なものも見える。

◇

龍中展ではまづ五年の三田昌夫君の作は一頭地を拔いた、大作もある、油も乘切つてゐる、たゞ老婆心として藤田先生にうつかりひきずられて行かぬやうに―。一年の醍醐清哉君の作にも快感を感ずる、醍醐君に油展さんことを祈る。出品の中では師範の山下一義君が一轉換を試みて地盤の上に根を立てやうとしてゐるやうに思ふ、新よかつた、木正之介氏の中では『ダリヤ』が鋭な觀察眼に敬意を表する、中でも最近のものらしい『風景』には逸田氏最近の心意氣が伺はれて快をおぼえる、永い間苦しんでゐた氏が帝展の入選を好轉期に一

優勝戰に進まれんことを祈る、中學校の洋畫展としては立派過ぎる程なものであつた。（多田生）

秋二日の旅
千佛山探勝と朝鮮水電見學（一）

『總督府の總務課總監課と總督秘書來賓の多忙さがたゝりました。僅か二十余名です……』『會費豫納の方法を執らぬからこうなるんだ』『幹事者から會費を追徴するんだね』

『それにしても特別待遇のこの客車は有難い』

『千佛山探勝と朝鮮水電工事見學團』を本社咸興支局が主催して發表以來申込殺到、締切日の十六日までには豫定の五十名を超過すること約三十名のそれが實行に移すれば此の狀況である。

◇

『會費が足りなかつたね……僕等も不安に感じてた一人だよ……』

『それもあつた。然し時間された人員と當時の狀態はあれ以上の宣傳は不用であり宣傳の濫用は恥ぢたいから……』

『延期したらよかつたね、行けなくて悔しい者もあらふに……』

零時廿四分西咸興驛を發した列車に特別連結の新造車に納まつた一行から同情とも惡口ともつかぬ話に惱みながら進む。

『明日の千佛山探勝は何時だらう』

『さあ確九時とか十時とかいつてみたが……？』

うるさいので答へがあいまいだ。新聞の小手調べに一寸隣席を當めて見る。

『豫定その他は隊長まで。その後は心配不必要とあつたが確だらう……』

『それも一寸疑問でね。今五老驛長から千佛山に電話して質ねた隊長によると設營班で要求通りの人夫の供給が出來るか疑問らしいから……』

『やれ〳〵頼りない隊長殿だ……』

◇

一行は收穫のよろこびに満ちた秋の田園から河畔、溪谷とのろい汽車でも行手は迫る。五老、興上の主要驛を過ぐれば咸興發後二時間半にして汽車はいよ〳〵千佛山驛につく。（咸南支局MATSURO）

科學的作歌法の存在（下）
穎田嶋一二郎

『ぴつたり來ない』

他の批評法を知つて居る人々の欲望に取つてはむしろ皮肉なる徴候である。

◇ ◇

七月號歌誌上の『短歌は滅亡せぬか？』といふ問題、滅亡論の論でなく、かへつてこの三ケ月速成歌人の爲に普遍的傾向さへもつてゐるだらう。」

彼等は彼等のあてこみに成功したる快感に有頂天になつてゐる。彼等の態度は益々この普遍性

と聽めるのみであらう。」

◇ ◇

ゆゑに坦道をゆく短歌者にいはんとするのである。歌が三十一音の短歌風情に六尺の男子がひきずられてゐる醜態を一度でも思ひ浮べてみるべきである。」

然して氣がついた短歌者はその醜態から一日も早く逃れよといふのである。

上手に扱つち上げる者に興味を持つて現代歌壇の幽靈に盲從するか、又は藝術良心の開眼に比較的簡單なる短歌によつて藝術水準を僅でも高めて第二十一世紀への道程とするか。

去就について一反省を促すのである。

然も誰に上手なる歌人の如きいつ何時でも三ケ月で速成されるといふのは一つの安心ではあるまいか。」

◇ ◇

われ〳〵は科學的作歌法の存在を高唱する。就作する。

しかしてこれに、現代短歌者にとつて、痛烈なる皮肉であるといふ役廻りだけを與へてはおけないではなからうか、と警告し、高唱したいのである。（完）

コドモブンゲイ
（ミツワ家庭欄十五、十一）

ヨンデイタダクオハナシ（二十四）
笛を吹く仙人（下）

その青年は公に問はれて話をつゞけました。「日の出の時、此の山の笛が美しい歌をお聞きになりました時に鳳凰が出て來ました。鳳凰が音樂で誘ひ寄せられると、仙の禽がみんな誘はれるのでございます」とお答へしました。公は此青年の吹く笛がきれいなので、すつかり惚れて「私に可愛い娘があります。大さう音樂が好なので、まるで音樂に耳のない方には、あげたくないと思つて居ります。で、あなたのお嫁にしては頂けますまいか」

青年の顔はおちついて來ました態度もおじぎをして云ひました。「私は山に生れた百姓でございます。どうして姫君の婿になることなぞは思ひもよらない事でございます」公は「娘が未だ子供の時に、羊飼の笛を吹く人を夫にすると誓を立てました。あなたの笛は天から地まで響き渡つて、生きて居るもので心が動かさないものはありません。それに娘が夢を見たことがあります。今日がその夢で見た日に當りますから天の配心はもう明かであります。どうぞ私の云ふことに背かないで下さい。」青年は地に跪いて、ありがたくお受をしました。

公は豫言者に婚禮の好い日を選ばせました。豫言者は云ひました。「今日は仲秋でございます。これ程よろしい日は他にございません。月は空でまんまるにかゞやいて居ります。地の上の人はみんな樂しくして居ります」そこで公は沐浴の用意をおいひつけになりました。青年は身を潔める爲に案内されました。青年は華やかな絹の衣物に召換へて、鳳凰の塔へ案内されました。此處で青年は姫君と結婚をしました。その翌日公は酒宴を開いて青年を招びましたが、約束を守らずに一日鳳凰の塔で暮しました。料理したものを食はずに、葡萄の汁を幾盃かのむだけでした。此の青年から姫はほんたうの息のしかたを習ひました。それで姫も料理したものを食はずに生きられる様になりました。その上、鳳凰を誘ふ笛の節を習ひました。半年程後に、或晩此夫婦は、月の光の下で一所に笛を吹いて居りました。急に其處へ一對の鳳凰が

表れて、鳳凰塔の左にとまりました。すると右手に赤い龍がとぐろを卷いて居りました。青年は此時云ひました。「私は天上世界で、天人だつたのです。天上の主のおいひつけで此の下の國へ遣されました。其時歴史の書物が亂れてしまつたので、私はそれを整へて居るのです。で此國の昌王の十七年に莊家の息として生れました。昌王のおかくれになるまでに此國の歴史を書く人達は力がないので、私が太初から今日までの歴史を整へました。これから後はあの人達が續けませう。此歴史の仕事をしたので、莊史と呼ばれました。けれどもこれは百年も前のことです。天上の主は私に、山の精として太華山を治める樣においひつけになりました。あなたとの結婚は前からの約束でしたから、神が、二人を笛の縁で結びあはせたのです。もう此の人間世界に用はありませんから龍と鳳凰が迎へに來たのです。二人は天上へ行かなければなりません。」

姫は父君に暇乞をしやうと思ひましたが、莊史は云ひました。「いゝえ仙人にならうとするものは地上のものに考へを亂かされないものです。そうして親戚なぞに未だ未練があるのですか」さう云つて莊史は赤い龍にのりました。姫は紫の鳳凰にのつて雲の中へ分け入りました。その夜太華山の中で鳳凰のうたふのが聞えました。

姫の眼元が此事を父君にお知らせすると、父君は口もきけませんでした。「仙人が姫を連れ去ると云ふのは本當かしらん。龍や鳳凰が來て私を連れて行つてくれたら、私は少しも悔まず、此國も捨てゝ行くと思ふ」とほつと息をついて言ひました。公は、此の二人の音樂家を探しに、大勢の家來を太華山へお遣しになりましたが、二人はもう影も見えず音も聞えませんでした。長かつた話も漸く終りました。

口寒くなつて參りました。皆さんは今綿入や冬服を着てゐられるでせう。夏のものや、秋のものは、皆さんがおしまひになりましたか、おかあさまや、お姉さまがおしまひになりましたか。

これからの寒い時でも、衣類につく虫は、箪笥の中は暖かで、たべ物がありまして、なくなりませんから、虫の嫌なミツワ石鹸を着物をお藏ひになつて居る抽斗へ三袋か四袋入れて置く樣にしませう。蟲はつきません。移香は人間には懐かしい匂です。

ですから、お湯へ入つて、お休みにしませう。お湯へ入る時ミツワ石鹸を忘れてはいけませんよ。皆さんあんなに運動をしたり、歩いたり、遊戯したりしたのですから、ミツワ石鹸を使ひませんと、汗垢がなか〳〵落ちません。夏の樣に汗が玉になつて流れる樣なことは、十分運動をした時でないとありませんけれども、それで汗が出ないのではありません。汗は冬の寒い時でも、少しづゝ出て居ります。脂も出て居ります。これが戸外の埃や塵物について居る垢なと混つて汚垢となつて居ります。これが、只浴槽へ浸つて、お湯で洗つたゞけではよく落ちるものではありません。今ではそんな方は見當りませんが、以前はよく堅くしぼつた手拭や絲瓜で、ごしごし擦つて居る方がありましたが、斯うして出る白いよごれたものは、肌の表皮が擦り剥かれるものですから、あとでお湯をかけると、ひりひり痛みます。ミツワ石鹸を用ひますと決して、肌が荒れずに汚垢が實によく落ちます。お湯で洗ひ流しますと、汚垢をすつかり除れて混つてしまつた石鹸の泡が、氣持よく落ちてしまつて、生々とした綺麗な肌が現れ出されます。手で觸つて見ましても、手觸りがしつとりとなります。湯上りはさつぱりとして、よく眠られますから、翌日はさつぱりとした心持で勉強が出來ます。

發賣品目録御申越次第進呈
東京兩町 丸見屋商店
營業所 下谷區二長町

童謠 月の母さま

ねどこに就くのが早過ぎると、
ねたまゝ月の母さまとお話しま
す。あたしの話はまあ斯うなの
『あの星はみんなあなたのお子さん？
月の母さま、お母さま
お空で遊んだり踊つたり歌いたりする、
お星を見て居ることがあなたはお好き？
月の母さま、お母さま、
明けがたが近くなつて來ますと
お星に『ねんね』をうたひますの？
夜明が薔薇色に赤くなりますと
みんなをねどこへ置きますの？
どうぞ聞かせて、月の母さま』

眼玉がうろ〳〵

すてきに面白い玩具の作り方を教へてさし上げます。じやうぶな西洋封筒の表へ、畫けるだけの大きな顔をかきます。その顔はチャプリンでもよし、いたづら好なお猿さんでも、鬼でもよろしい。お好なものをおかきなさい。出來たら顔に色をつけて此頭の上になる處(イロ)と顎の下(ハニ)に當る處と封筒の上下に切り口をつくります。それから目のところも大きな孔をあけます。此封筒の上の切口を通るくらゐの巾で長さが、七八寸くらゐの細長い紙を見つけて、此の上へ縱に長い線を二本引くのです。この線が彼の瞳になつて居て、それが、二つの眼の孔から見える樣に、二本の線を置き、波のまがり方も、一つの孔から隱れてしまはない樣にまげるのです。さて此の細長い紙を封筒の上下の切口をとほします。そして、下へ引つ張つたり、上へ引上げたりします。すると、チャプリンが、眼を白黒にしたり、ぐる〳〵眼玉を動かしたりしてそれは面白いものです。

レートフード

あちらからも こちらからも
重寶がられ
愛用せらるゝ
現代的カクシ化粧料

肌なめらかに附けたと見えずほんのり色白くなり……常用すればお肌を根底から美白化する……

一瓶一家
父のヒゲソリ後に
母のカクシ化粧に
姉のお化粧下地に
妹の通學整容に

感冒の豫防に

食前の一杯にして 食慾を増し 血行を旺盛にする
ハチブドウ酒は お寒さの折 特に寢しなの一杯に於てよく感冒を豫防致します

蜂印香竄葡萄酒（ハチジルシコーザンワイン）

活・花・の・話（上）

京都大日本國華會　江畑祐之

植物と人類とは生理に離れることの出來ないのは、今更說をまたぬのでありますが、精神的にもまた密接な關係を持つて居るのであります。その自然の植物を人間の感情の働きによつて美化するところの藝道は、複雜きはまりなき生活のために、やゝともすれば荒れ易い感情を融和する唯一の慰安でありまして、民衆藝術として家庭必須の條件となつて居るゆゑんであります。

◇その藝道も創始されて以來幾百年、その間幾多の變遷があつて、現在では百を以て數へる流派が分れてをります。そしていろ〳〵な傳說を附會して祕傳といふものを設けたが公衆を絕對に避けて居るのでありますが、これ等は何等藝術的に基礎を置いたものでないから藝術の立場から論ずれば無價値なものに過ぎないのでありまず、かつその他に種々雜多な規程を作りそれに當て嵌めて型の模倣を強要しているのが今日の流派であります

◇型は藝道の行程に過ぎません、模倣から獨創の天地に出なければ藝術とはいへないと思ひます。ですから藝術の極致は自然の理趣を通じて氣品をうみ出すことにあるのです、そこに到達するには藝術的研究の力によらねばならぬのであります。でその重なるものは植物觀性、植物生理的變化、造形美の構成理式、色彩上の構成法式、花器の構成樣式等であります。又水揚法としても、たゞ手段だけを習つても、決して完全に活けることは出來ないのであります。植物組織、吸水通路、同化作用、蒸散作用、呼吸、滲透壓、化學作用、これ等と水揚との關係さへ知つたならば幾千種の植物でも自由に活ることが出來るのであります。しかしこれ等を細目にわたつて紙上で申上ることは不可能でありますから、何人でも必ず知つて置かねばならぬ活花の花型を作る原理を說明します。しかしこれもたゞ一の標準に過ぎないのであるから、必ずしもとらはるべきものでないのであります。

紙上病院

心臓を強くする法

【問】滿二年十一ケ月の男子、身體の發育は普通の樣ですが心臓が弱いと見えまして少し運動すると脈拍不整になり手足が冷える傾向があります。一時的でなく又健康體の子供に育つても差支ない心臓を強くする方法をお知らせ下さい（龍仁困者者）

答＝心臓を強くするには生活狀態を規則的にしかつ食物の關係法が必要です一時に多量の食物を與へることは甚だしく害があります又睡眠が充分することも必要ですなほ又注意すべき點は病氣では最も害がありますからこれに罹らない樣にしてあげねばなりません。傳染病には特に注意しなければなりません。（内科田中丸病院長）

赤痢に就て

【問】私は二十一歳の男です、去る五月中旬頃から赤痢病を患ひ現今の所まで醫師の診察も受けずこの頃ヤット病をたべ……

答＝赤痢療法の必要なる事項は腸内容物を除去せざる樣にする事と食餌療法との二者が主なるものです腸内容物を除去せしめざる樣にするには下劑の内服と腸洗滌との二法によるのです下劑藥は「ヒマシ油」を一回二〇乃至三〇瓦位でよいでせう腸洗滌は素人では危險を伴ふ場合がありますから出來ませんでせう食餌療法は絕對流動食で重湯葛湯スープ等の流動食以外の固形食物は絕對にいけません下痢と腹痛が止まるまでは使用しないと病を重くしますその他腹部をあたゝめ安靜にする事大切です（内科田中丸病院長）

膽石病

【問】五十九歳の女、本年八月膽石病を患ひ一度全快、六月前後し治療の結果大分よくなりましたがまた痛みがあります、しかしものがつてゐたのでせうか、一體膽石病とは如何なる病氣でせうか、入院を取るやうなことはないでせうか（忠北堤川困難する女）

答＝膽石病といふのは食物を消化するにがい味のある膽汁といふ液を出す處の膽嚢および膽管といふ路があるのですがその膽嚢、膽管に色々な原因で石が出來その膽管を詰らせ痛みが出るので、その石の刺激のため痛などが出來て命にかゝはりますその上この病氣は手術をして石を出さない以上は殆ど根治することは出來ません病氣が進んで痛などが出來ると手術も出來なくなりますので死を待つ樣な狀態になります本病の療法としては人工カルルス泉鹽又は硫酸マグネシュウムおよび健胃整腸劑の内服をしかつ身體の安靜を計る時はその進行を防ぐことが出來ます（内科田中丸病院長）

柳澤騷動【41】

桃川如燕演　田代曉舟畫

保養のために

…將軍綱吉卿へお成…

お館は部屋に退つたが柳澤のいふ事が合點がいかない、そこで附添ひの綾姫に向ひ「今柳澤の御前に召されて……」お館は久々にて命ふとの將せられたには喜ぶ事はありませんと讃ねられて綾姫その「お喜びは御主人も御一緒、かう樣な事でございます。お上がまた綱太郎と申上げ、御御身の事でございましたが、其樣とお聞御の上がお目に入らうございまして一度御縁組になり、實家へお歸りになりました時に、身重くなつて居らせられました、月滿ちてお生れ遊ばしたは男女の中より御血の御家中兒玉親錦と中す潔方へ養女にお遣はしになりました。それをまた綱吉殿が御覧になされて、御養育なされた事でございます、イエもう長年貴女のお行方を探ねてをりましたが、御親子の御縁は深いもので、今度御本丸の上りのお方があれにおゐでになるも判りまして、おつれ戻しになつたのでございます」お館はこれを聞いてびつくりした、兒玉親錦から離別のもとへ養女に來たとのみ思つて居た、所が實の親は柳澤、たゞこれのみならば疑念を抱かずと自分の生れた月日をおぼめがひ夕りと當てた、シテ見れば柳澤夫妻が實の父母であつたかと思つた、これは何ぞもも柳澤が自分共に御寵愛を持たせやうといふ藏太夫と謀いた狂言、大事でございましたと後ろでお館に頼みな事を仕込みました或は質などを教へ、これを藤原家にすゝめる手段、少しも手ぬかりがない、處でその當時將軍家は何れ、我子には何れ、世を味知なく感じ、自らとしてゐらせられたと共に御住まひ何とか言はせられては一大事、何とかしてお氣を慰めたいものと、いろ〳〵御趣向をすゝめたがそれをきき入れぬ、たゞ一と間にて讀物ばかり見てゐる、最も綱吉公は醫者でございます、これを見て心痛して「ございませう」と申上げた、一體綱吉公は親孝行、御母公のいふ事は何でも用ひたそこで諸侯の邸へ遊びに行くことにして、先つ柳澤の邸へお成りときまつたが、これは柳澤吉保の工夫でございます、御母公の桂昌院様「御保養のため諸侯のもとに成らせられ、お茶の湯又は連歌をお催し遊ばし、お氣晴らしをなされたらよろしうございませう」と、これは老中の許にお出になる、これを拝借するには入費がかゝる、茶の湯又は連歌の愉しみといふは表向き、その實は趣向を凝した余興を御覧に入れる、それとて卑しい下様のものでは御氣にも入りません、高價に倦みになる事といへば先づ能、或は狂言、しかしそれはあり來りの事で、何ぞ新しい趣向をと頭々それについて頭を痛める、大目付、本目付、禁裏附、但馬守、土屋相模守、大久保加賀守等皆老中ですがそれへ行く、これを一と廻り廻ると次は御側役であるとか、奧州侯とか國守大名の處に行く、然し我まゝですから其方の邸へ參るが何うかいふ催しがあるかとそれを聞く、左様にございます、御機嫌よく、御聞きを致したいと存じます、これは叶わかね旦那様、先づ御近習へ申し上げて置きませう、そんな事をきいて御膳に致し、さて事に參るなど申し置く、一旦お申付けは差上げて追つて參るなぞと申し置くでおります。これは上様より御意があつたら御成り、御傳へを致さねばならぬ、その邸その後柳澤は何と申して何ぞと申し、その御催しの何となくきまつた、その繭を作るの工夫の一つでございますが……ふ事でございました。

その前日柳澤を召して綱「何のやうた趣向があるか、それを聞ふ、余を如何にして慰めるか」と申しました、それを聞いて居た老中が柳澤が何と答へるか、定めし珍しい事も御覧に入れるであらうが斷られると大變、何うなるかと自分共は實に冷やした網袋があるから、その興味を以て待つて居る、その時に柳澤が出「たゞ今申上げますては御興を殺ぎます、これゆゑこゝにては申上げられません」綱「オヽ左様か、尤もな事でおるな、明日は見て取らせるぞ」とそれを聞いて老中が柳澤は利巧だ、こゝでいはず、先方に氣を持たせる所がよかつたなそと、その演習をはめてゐる、いよ〳〵當日柳澤邸にお成り、當日御側には御老中若年寄高家衆、そのほかお氣に入りの側衆が數三百人、これを招待する方では大變な費がかゝります。

寫眞は　旭町一河原へ

京城明治町二丁目
中央婦人科院
院長　衣笠茂
電話三三四〇番

京日童話

母を尋ねて（六）

茶谷八郎

……西は夕燒、東は夜明け……の果しないシベリヤ、行けども行けども果論な道につきないのです「もう沢山！」何度目かに、から聞かされた時には、健雄はとう〳〵叫べたにへつたり坐つてしまひました。暗い〳〵穴の中に、ズーンと落込んでしまつたやうな心持、寂しい極、心細い極、これ程な氣持は迚もいひ現せません……長い旅の疲れで、健雄が幾時かの後、夢から覺めた時には、ひどい熱にうかされてゐたのでした。

「お母さん、お母さん、助けて下さい、僕は死んでしまひます、シベリヤの野原で死ぬのはいやです、いやです……」

「あゝ、お母さん、健雄がはるばるやつて來ました、どこにお居でです、早く〳〵來て下さい……「そッ駄目だ、お母さんはあつては下さらないの、死んで了つたの？さう……」

起つては倒れ、倒れては起ち、あるいては路傍の石ころに眠りすがつた。

「哀れな健雄よ！母を尋ねて一千マイル、或ひははてなき旅路であるかもしれません。」

「健雄や、お母さんと二人でからして何時までも〳〵一緒に居ませう……」

お母さんが、日本の國のお家にゐられた時分、しつかりとだいてすりと頬とをくッつけて下すつた、そのことを思ひ出しました、さうすると父親の顏が出てまゐりました長い〳〵柔道を習つたり、大きな〳〵鍬の柄を握つたりして、五月、六月、七月……とあるいて行くうちには、もう足からは血が流れ、眼はくぼみ、一世も衰へて見るからに痛々しい有様でした。

ある日の夕方、「ハバロフスクへはもう二千マイルだ」といふところへまでこぎつけたことを知りました。遂にそれを聞くと健雄は、一時に氣がゆるんでふら〳〵と倒れてしまひました、が如何にも嬉しい氣に胸は波うつてゐました。

頭の上には、金の砂でもバラまいたやうに、星がキラ〳〵と輝いてゐました。生れてはじめて、こんな美しい夜空を仰ぐやうな氣がしました。健雄は、ぢつと仰いでゐると、何となくゆつたりした氣持ちになつて來て、いつまでもかうして倒れてゐたいやうな氣がするではありませんか……。

死の寶庫　二十二卷

日活映畫

（概說）原作紀海音、脚色鈴木善香、田坂具隆、伊奈精一共同監督、田演俳優は島耕二、瀧久子、西條香代子、東坊城恭長、三桝豊、小杉勇、星野弘喜等にて連續探偵活劇である。前中、后三からになる大作品、筋は瀧川男爵家で買取つた塔の家、その塔にまつはる不思議きはまる事件を扱つたものである。

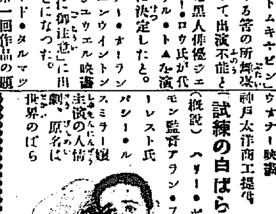
▲ユニヴアーサルニユース

▲チャールス・ギルピン氏は、ユ社の來年度大作「アンクルトムキャビン」に出演する筈の所病氣のため契約によつて出演不能となり有名な黒人俳優ジェームス・ビー・ロウ氏が代つてアンクル・トムを演ずることに決定したと。

▲ウオーナー・オーランド氏及ジエンウイントン嬢はユ社のジユエル映畫「後家さんに御注意」に出演することになつた。

▲リチャード・タルマッチ氏ユ社第一回作品の題名は「ファイテング・ドン」と決定、監督はアーヴェン・ウイゾット氏助演者はバーバラ・ベッドフォード嬢、ステュアート・ホームズ氏、デヴィッド・トーレンス氏

▲レヂノルド・デニー氏次回作品は「愉快な嘘き」と決り監督はサイター氏



▲ウォナー映畫　神戸太洋商工提供「試練の白ばら」（概說）ヘリー・ボーモン監督アラン・フォレスト氏パシー・ルスミラー嬢主演の人情劇、原名は世界のばら

▲東亞撮影所便り

▲甲陽　根津監督「正等持院」石田監督「雄しき叛逆者」か十三日に完成、石田監督「雄し叛逆者」か十三日に完成し次回作品「世紀病劍」を完成▲竹内監督「世紀病の準備▲原監督　岡徳勝主演「患者」を完成し次回作品「惡の撲突」を近く完成準備中▲井出監督　活劇主演「もつれ髪」を撮影中▲奧山監督　竹村信夫、露井龍之助「彼の拳を見よ」を製作中▲村越監督　光岡龍三郎原精梗主演「赤熱の力」を完成次回作品準備に入る主演「不手造酒」を製作中

◎恐るべき蔓延力ある 癩病は年々殖る

▲蝕されながら氣付ぬ患者が▲夫から夫へと黴菌を散布す

◎癩は遺傳病にあらず油斷すると誰にでも起る

人類の幸福を根底から破壞する恐るべき癩病は年々増加しつゝある事は眞に寒心に堪えぬ次第である每年行はるゝ徴兵檢査の壯丁檢査に於いて發見する患者のみでも優に一千人をくだらずと聞く世人は今なほ癩病を遺傳病と誤解して居る者が多いからたまらぬものとくなら癩病血統者でなくば傳染せぬものと誤解して居る者が多いからたまらぬ、本病に冒されてもこれを悟らず普通皮膚病又はレウマチス、神經痛などと誤解して折角遠ひの治療をなす内に病勢は容赦なく増進して往年人に誇りし花の顏も無殘にも破られ醜い姿となり遂に世を捨てるに至る、この憐むべき醜貌を避けて本病を治療することをさとりて猶ほ醫をつねとす

▲疑似症患者は醫師に就いて診斷せよ

癩病は決して遺傳病にあらず如何に恐しき血統者でもいつ傳染するかも知れぬから若し其向の症狀が起つたら一刻も早く治療せねと人目にも顏にそれとわかる樣になれば階下一人の御不幸のみならず貴下の血族者はいはゆる癩病者と稱せられて結婚にもうとんぜられて結婚にこはまれ折角縛ばれた良緣もこれが爲に破綻の嘆を招く實例もありますから一家一門の爲に御自重なさい今こゝに本病の初期に起る症狀を列記して世人の注意を促す

◎癩病の初期

▲眉毛に搔痒を感じこれが拔けば白色の鱗粉を剝離しかして徐々に眉毛および頭髮等が脫落する

▲每年冬になれば顏面又は手足に褐色を帶びてザラ〳〵となり或は激しき凍傷の如き腫物を生じ夏になれば拭ふが如く全治する

▲足部又はその他に時々チクチクツと針でさゝるゝ如きはげしいたみを感じ瞬時にして罷む

▲體の一部に時々小蟲が這ふ如き感ありかつ常に逆上の氣味ありて顏面に浮腫を釀し油を塗りたる如き光澤を呈す

▲皮膚の外觀には何の異狀なくして最初錢貨大の小部分に知覺を失して針を刺すも感覺にぶく漸次その部分は擴大蔓延する

▲皮膚に用兵様の斑紋を發生し或はナマズの如き斑紋を生じその部分知覺を失し又はこれに反して斑紋部に物が觸るればその全身に感じ減りて劇しき疼痛を起こす事もある

▲突然皮膚に小さき火傷の如き水疱が生じ後破れて膿物となり膿を出して全治し或は永く治癒せず

▲常に鼻がつまり又は鼻孔内に腫物を發生して永く治癒せず

◎治療の遲速

前に述べる症狀は多く癩病の初期に起る實驗であるこの時機において治療を誤れば病勢はドシドシ亢進して顏は褐色を帶びて肺れ上り治も癩を飽せる獸の如く皮膚を生じ顏はおちて二つの穴のみを現し一目と見られぬ醜怪極まる相貌となり遂に手も足も腐ちて落ちる終り暗黑裡に呻吟せねばならぬ故に少しにでも本病の疑ひのある者又はハテ變だ若くや癩病ではないかと心づいたら寸時も油斷はならぬ即刻本紙の愛讀者たることを明記して當方へ照會すれば天與の治癒整理を絕對秘密嚴格かつ確實に出來る無代送呈する本冊を一讀せられなば立所に蘇生の心地せらるべきことを保證します

宣誓

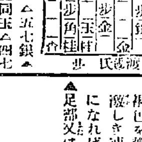
本病患者たることが暴露して家庭を破壞し一門の間には被血族者を忌避に泣かしむるの實例暴が少なからずこゝに鑑みて余は絕對的責任を帶び一命を賭しても貴下の秘密を嚴守すべきことを誓ふ故に絕對御安心の上寄も御心配なく御照會あらんことを望む

東京市下谷區車坂町五一番　福田秋水
電話下谷二〇一六番、同七二八番

將棋新手合（五）

於東京市日本橋區濱町一ノ四　濟昌亭　讀賣新聞社寄
四段　小泉兼吉（東京）
五段　渡邊東一（東京）

（圖は前號指了の局面）



△五二金▲三三角ナル△五七銀▲五八歩△六八銀ナル▲同銀△四八歩▲同玉△四七歩ナル▲同銀△四八歩▲三九金（へ）△三五飛▲三六歩△三三飛（へ）▲同飛ナル△八六角▲七七桂（以下次號）

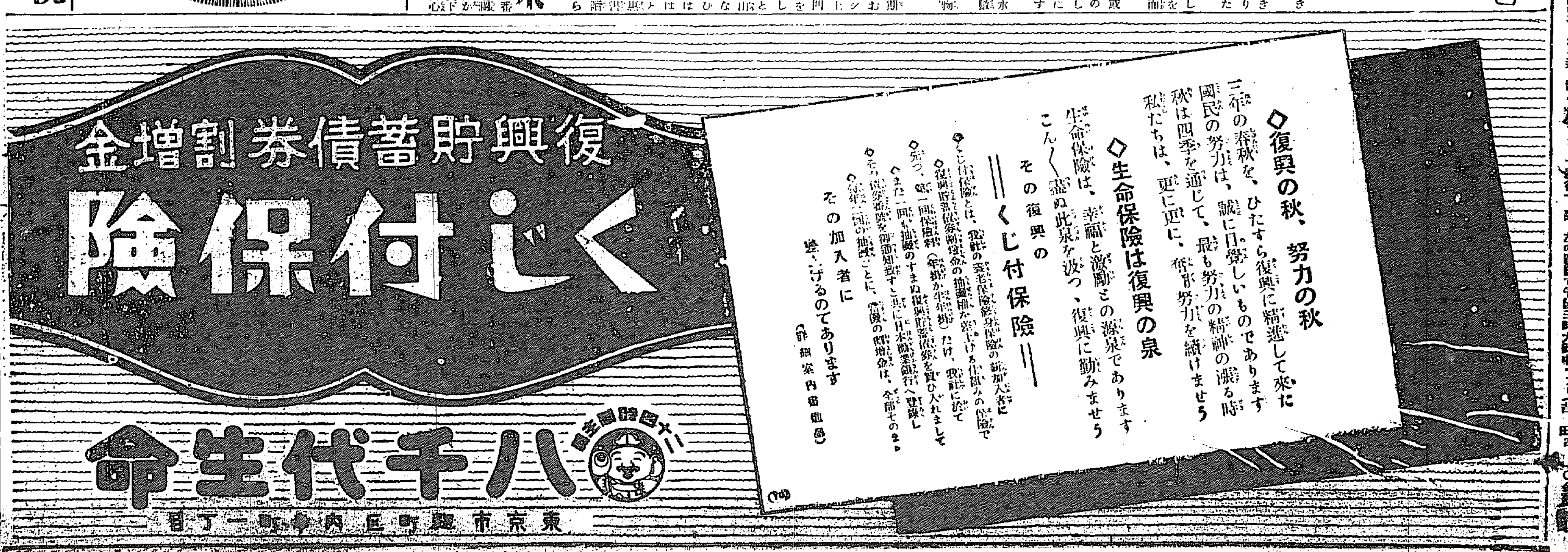
十一月九日

（舊十月五日）
四緑　正御直已　大安　火曜
宿　□□　□ケ

▼四緑▲表面は好さうで實際は穩でない用心第一北と西と手が吉
▼五黄▲浮ッ調子な日我儘を通さうとして失敗する北と西と艮が吉
▼六白▲まめやかに立働いて目上の引立を受ける不東と西と坤と艮が吉
▼七赤▲出過ぎては睡を嚥へられる居宅内にて有利南と東と西が吉
▼八白▲足元の見えぬ邪がある日の分配あり用心東と甲と丙が吉
▼九紫▲邪往邁進すれば凶も吉となる行くの妨を我む内と東と西とが吉
▼一白▲投資の日大規模の計劃は後期にするが得策西と庚と子が吉
▼二黒▲注意にして邪道に陷入りあい世話は禁物北と西と艮が吉
▼三碧▲機敏に活動して盛況の大吉に占むる者は吉北と坤北と壬が吉

最新　癌治療内服藥
根來歲吉先生創製
（發明者進呈）
アンチクレプチン
現今地上に於ける唯一の癌治療藥
（主治効力）速に自覺的苦痛を去り、食慾元進營養回復を計り、出血、惡臭分泌を制止し、癌の吸收縮小を催す。全國百餘名家の實驗に依り卓効を確認せられたる癌治療藥は壹し水劑を以て嚆矢とす
（價定）アンチクレプチン　一ヶ月分　金二十五圓
アンチクレプチン錠
製造發賣元　酒井長春堂

府立　仁川病院
電話　事務用一六番、病室一〇一四番
院長醫學博士　岩井勝三郎



開東軍勝つ
學生相撲大會

大毎十時半より大阪府中等野球大會は七日午前十時より大邱府三笠町公設コートに於て開催、參加二十八、左の戰績で午後三時大邱中學決勝戰　大中　四—二　金泉

校友選手科學校よりなるグルンドクラブの親友會優勝旗爭奪戰野球リーグ戰は九日午後四時から連日醫專グラウンドで擧行

財界のにほひ

死活問題

世の中の問題は要するに生活問題、言ひ換へれば物價問題だ。だから米が三四錢も急騰すれば殺人相場だの何のと騒ぎ立てる。當局は當局で暴利取締令といふ傳家寶刀をひねくり廻さうとする。ところが外の日用品物價には、わかつてゐて無關心なのか、わからないので平氣であるのか、判然としないが、無關心であることだけはわかつてゐる

◇

野菜にせよ、魚にせよ、如何なるものも生産者の手から消費者の家所へ來るまでには値段が二倍にも三倍にもなる。大阪の天滿青物市場へ集る品の所得平均歩合は生産者の所得が四十五パーセント、それが消費者へ入るまでに五十五パーセントかかつてゐる。消費費や運賃も無論含まれてゐることはゐるが、それは十三パーセントに過ぎぬ。あとの四十二パーセントは問屋、仲買人、小賣人の口錢となつてしまふ、まるで口錢を食ふやうなものである。

◇

殊にこの生産者と消費者の經濟的間隔、即ち取引上の複雑なもの魚類より甚しきはない。沖で獲れた魚が京城で料理されるまでの經路を見ると、漁師－沖買人－問屋(又は資本問屋)－海岸市場－仲買人(差配)－京城市場－仲買人－小賣人－需用者とチヨツトのことでは覺え切れぬほどである

◇

諸外國でも商人過多の議論は盛んに行はれ、これら仲間商人を今少し減らして商品の生産價格と消費價格との接近を考究せられるやうになつたが、してできぬことはなからう。たとへば漁區を領有する沖仲買船から直ちに京城なら京城の市場へ直接にして送らず、そして市場から小賣人の手を經て需所へ入るといふ風に……斯う一般の仲買商人を省くことが社會生活上また經濟問題からしても至當ではあらうが、多數の仲介業者に取つては重大なる死活問題となるらしさて／＼世の中は思ふにならぬものである(秋田生)

收支さへ償へば 線路を延長
◇前途は實に洋々たり◇ 大川朝鐵社長語る

朝鮮鐵道會社大川社長は長谷川取締役田鍋總務部長同四日入鮮慶東慶北、忠北線を視察し入城したが氏は來城の途次、慶東、忠北の兩線を見九日より黄海道、全南、慶南と各線をつぶさに檢分する豫定である。百聞一見にしかずといふ諺はあるが私は今回豫て切にこれを感じ來鮮した譯で鐵道はいふまでもなく地方の産業とは密接な關係があり、私は社長になつた上は是非鐵道を興して産業開發の一助とする腹である。地方に鐵道敷設を要望してゐるのは屢々聞いた處で、丁度忠北線の忠州清安間二十八マイル、慶北線店村醴泉間十四マイルの如き實地を見て直ちに測量に着手すべく方針を決定した位でこれはホンの一端であるが到る處かやうな箇所が現在してゐると思ふ、これ等は一生懸命になつて鐵道の敷設を果さなければならないと思つてゐる、忠州には年額六十萬圓の煙草かあり、此等は鐵道開通によつて非常に助かる事になる、私は元來鐵道といふものは極く地味であるが頗る堅實事業と思つてゐるが、現に政府より八朱の補給を受けてゐるのでその營業は收支さへ一杯になれば進んで敷設すべきであると主張してゐる、故に線路を敷かんとすればその線が果して經濟的によいか、收支相償ふかを第一に研究し若し收支相償ふなればこれを決行する、現在我社線では慶東線佛國寺蔚山間のみ年額七萬圓の缺損となつてゐるが他は順調に推移し合併以來一箇年少くも一割づゝの增收となつてゐる、同線の缺損も他線の增收に相殺されて何等憂ふるに足らぬ、されば當社前途は一箇年一割自然增進と見て今後十五年間には一千マイルの延長が出來る譯で實に洋々たるものと樂觀してゐる、來鮮して私の考へを裏書したのは朝鮮の鐵道が何等悲觀を要せない事である、實は我社の重役間に二つの議論があり、その一は朝鮮の鐵道は收支相償はぬ故にこれに手をつけるより利子を得る方が得策であるといつてゐるが、私は幾多の實例を見てこれは必ず一杯／＼で行けると確信して居た果して左樣であると實地踏査して非常に心強く感じてゐる次第であると熱心に私鐵の延長を力説した

京城三魚市場の 合同移轉と條件
中央物産側の出方一つで 蓬萊町に移るかも知れぬ

丸キ、日ノ丸、龍山三魚市場の合同して南大門外の中央物産市場内に移るに内定したことは既報の通りであるが、合同話の起こつたのは九月廿二日である、三魚市場の合同問題に就し馬野府尹は「京城府では昨年から府營の中央市場經營の希望を持つてはゐるが、何分にも府の財政が許さないので如何とも仕難い、それよりも寧ろ三魚市場が合同し、場所は中央物産内としてはどうか」と慫慂し爾來三市場では協議を重ねたのであるが、府營ならば合同なりとの意見は昨年よりあつたが、府營にもならずして中央物産市場に合同移轉することゝて議が容易に纏まらず府營市場と魚類市場を一所にしなければならぬ理由は毫もない、野菜は誰にでも買へるが、魚類は賣買仲買人以外には何人も買ふことが出來ぬゆゑ、合同場所は府營豫定地であつた蓬萊町の敷地一千坪で十分である、また合同しなくともたゞ同所に三市場が集まり交互にせり賣すれば公定價格も建てられ、冷藏庫が必要ならば同所に建設すればよいではないか或は府營のできるまで待たうなどと種々議論が出たが、府當局の熱心なる慫慂により合同して中央物産に移るに決定し、既報條件以外に府當局に對して、土地使用料を如何……の前途を誤らすものなれば慎重にせり場所賃興その他につき對策を講究してゐるやうである。右の如く三魚市場の中央物産内に移ることは非常にデリケートな問題で中央物産の出樣一つで交渉破裂し三魚市場が前述の如く蓬萊町で合同するやも知れず、また十分可能性ある模樣であるが府當局が熱心に斡旋しつゝあれば十中八九まで實現するものとみられてゐる

合同移轉と 府の意嚮
馬野府尹語る

右につき馬野京城府尹は語る「都市一市場主義は數年來の懸案であつたのと、現在の魚市場の衛生設備其他が監督はしてゐるものゝとうも思はしくない、それに魚市場が三つもあるため仲買人中市場に借りをこしらへてはまた他へ移つて借りをこしらへるといふ風の惡分子が可成りあつて市場側でも手古摺つてゐるのでどうしても合同しなければならぬ、それについては中央物産の位置が理想に近いものであり、あれだけの大冷藏庫の設備もあることとて同所内に合同移轉を希望したわけである、府への要求たる道路擴張等については移轉が實現すれば早速擴張に取掛らう、移轉の具體的條件は明九日府廳に三市場および中央物産の代表者が會合し府當局も加はつて決定するはずであるが、これまで話が進んでゐるのであるから是非まとめたいものである、移轉に決定しても設備その他で實現するのは來年の三四月にならう、なほ三魚市場の合同で競爭がなくなり却つて高くつきはしないかと危惧の念を抱くものもあるやうであるが、市場は外のものと違つて一市場の方が安くなる、即ち小口拔より大口拔になること、市場が多ければ漁業者が五厘でも高い方へ送るが一市場となればそれがなくなること等である、府當局は右の如く右同に力を入れてゐるが實現の見込は十分あり府民にも喜んでもらいたいものであると

朝鐵愈々拂込 を斷行せん
京城には支配人を置く

朝鐵拂込徴收問題については拂込を斷行する八朱の配當をしてゐる以上拂込を徴收してもよい、若これに應じないものは處分してもこれを決行する意向であるといふが、朝鮮駐在重役については目下人選中であるが、適任者ないのでまづ支配人制度にして近く決定を見るはづであると

八分配當案

朝鮮鐵道は來る十二月二、三兩日東京において定時株主總會を開き八分配當案を附議するはずである

生命保險料 低下傾向
新契約募集の競爭から

【東京電報】生命保險會社が新契約募集のため狂奔する結果營業者間の競爭は非常に激烈を極め其の爲めにあり殆ど手段を選ばざるの状態にあり殊に第一、千代田の兩生命が保險契約問題を惹起して斯界に沈散を投じたことは未だ世人の記憶に新しきものであるが、此の契約獲得競爭は今後共に之を續くべく、さりとて火保會社の如き保險料算定の基礎から見て全く想像だに及ばざるもので當業者間の苦心も亦茲に存してゐるが、最近生保界に於ては保險料が他社よりも安きを誇つて新契約獲得の競爭に打勝たんとするの傾向が現れ斯界の注目を惹いてゐる、即ち明治生命、愛國生命、萬歳生命等の新種生命保險は從來に比較すれば保險料低率となつてゐる、而して生命保險料は純保險料と附加保險料によつて構成されてゐるのであつて低率とする場合は附加保險料(營業費に充つ)の割合を低下せしむるのであるから其の結果は營業費の節約を圖らねばならず延いては會社全般の利潤の上にも好影響をもたらすを以つて該保險契約者のためにも好結果を齎らすものとして今後は各社共に競うて是れが實行を期するであらうと見られて居る

金融組合員の 預金も利下決定
銀行側でも要望す

京畿道各金融組合は非組合員預金利子を銀行側と協調する事になり七分三厘に引下げる事になつたので、近く組合各組合の上實施するが、この結果組合員と非組合員の預金利率は著しく擴大するので銀行側の要望もあり、かたく今回は非組合員の利下に止まらず組合員の預金利子も引下げる意向で多分現行利率八分より七分八厘となる模樣である

乙銀金組の 協定成る

京城組合銀行側と金融組合側との第二回會見は八日午前十時半より銀行集會所で行はれ、銀行側は十八銀を除く外全部、金組側よりは大塚財務部長、山根總合會理事長出席し金組の事情につき説明する所あり、預金利下の協調については双方異議なく、金融組合非組合員の預金は乙種銀行の現行率より三厘高にて取扱ふ事に話が纏まり別項金組の利下を行つて實施する事に決定した

釜山の勉強率 撤廢に決定

釜山組合銀行は四日會合協議の結果、定期預金勉強率甲種乙種共五厘を撤廢する事に決定したが、實施期については目下金融組合の非……

對米爲替強調

對米爲替は頃日來四十九ドル臺の強調を保つてゐたが、本日は四十九ドル四分一と四ポイン高でいよ／＼四十九ドルの大關門を突破したが、右は紐育市場で東京市價の成立近しとの噂があり全く模樣違しといはれてゐる

手繰りから足踏みへ
更に最新式の動力機へ 素晴らしい朝鮮製糸業の發展

◇古來の朝鮮紡織がたてられ、朝鮮の繭が内地市場に持てはやされるやうになつて、その結果として鮮内に擴がり、朝鮮の名は上に製糸工業が勃興し、生糸の生産は驚くべき高速度を以て進化した◇繭を飼ふものは今も昔も變らずお百姓であるが昔は自分のうちで作つた繭はうちで糸をひかせ、機の一驗位は持つてをつて手機の糸から織物まで仕上げたのである、所が繭が生糸となつて移出されるやうになると、經緯は百姓と離らない、生糸は手繰きは問にあはないそこで一般に製糸する業が必要となつてくる、所謂か繭を買つて製糸屋へ賣つけるか、製糸家が直接に買取つて糸にして内地へ搬出といふ事になる。製糸家の出來るのは自然である

◇最初は在來の糸繰機械の改善も伴へた製糸所が諸所に發生し、養蠶家の作つた繭を原料として買入れて糸に引出すのであつたが、それでは大抵の註文には到底應じ切れない、ソコで製糸家がこうして分立し、その目の存在理由を見出した上は、ことに工業としての製糸經營が技術的に經濟的に考慮される事とはなつた

◇家庭の副業から獨立した工業つた生糸業は、漸次その存在を明かにし、今では工業の乏しい朝鮮には將來最も有望な業の一つと數へられてゐる、大邱には山十、片倉、京城には朝鮮製糸、館……糸といつた最新式の機械を据つけた工場が建てられ、手繰から足踏が更に動力機械と規模も大げさになり遂には數百釜以上を擁する大工場が會社によつて經營されるにおよんだ

◇これ等の工場は現に特殊な地方に特殊な發展を遂げてゐる、大邱京城の如きそれで就中大邱は頗る隆盛を示してゐるが、製糸業者が地方に蝟集したについてはそれ相當特殊の條件を具備してゐる、例へば空氣の乾燥度がよいとか、或は水質がよく又はその地方に繭が非常によい等、大邱などはその總てを備へよく現在の盛大を招いたものである(やくと)

各省別 (十六年度新規要求)

内務省 [illegible]

陸軍省 [illegible]

司法省 [illegible]

商工省 [illegible]

【東京電報】十六年度新規要求 [illegible]

◎株式◎ 頗る手堅し

前場 休日あけ果して上へと寄付きは阪地大新九十七圓七と八十錢高寄鍾新入原東新一齊に寄高を示したがあと伸足探はず小反落して此の結果當所も大新九十七圓二と始めアト三十錢七圓丁と引け九十六圓八と十錢方小安く京取また不變二十八圓八と不變、鍾新出來不申等模擬りしてゐる間に氣乘薄であつた

▲京取不變▲大新十錢安

後場 阪電は大新九十七圓下もと寄り跡少高下あり七圓二と引けたが當所は九十六圓五により七十錢引と十錢小安く京取また六寄付步み六十錢と二十錢方低落鍾新は相變らず出來不申る不勢であるが阪地が引緩りなれば引際堅分しつかりしてゐた

▲京取出來値二十錢安▲大新十錢安

配當落諸株 京取市場建株中左の諸株は九日後場先限より配當落となつた

▲京取株▲穀信株▲大新株▲安取株

◎期米◎ 頭間入

前場 大阪の高移りに三十一圓丁度寄付たるも戻りは買物薄に九十錢まで剝落

後場 眼先小相場觀に双方手が出ず三十圓九十錢臺の持合に引

◎正米◎ 上値行間へ

京城 各地高を受けて前日は丸キ四等三〇圓九〇見當に引締りたるも今朝は相當買物現はれたると賣人の一齊手控へに氣緩み狀態となり丸キ三等三一圓三〇四等三〇圓八〇見當を唱へ地廻り米も同樣成行きを呈し上物二八圓八九〇〇と日曜前日に比し一二十錢高である

仁川 [illegible]

在米增加

仁川在米は前週に比し合格米二千二百三十七叺地廻米百十四叺の增加なるが之を昨年同期と比較すれ[illegible]

強氣弱氣

期米 相場は相變らず動かなさき然し兵庫東市場に於ける買方は俵遣りをしたり色々買方に對策を講じてる點から推すと決して油斷は出來ない殊に鮮米に取組次第では此の俵揚りが豆成行になるかが又賣方が總め上げられるが二つの一の岐目にたから面白い▲何にしても中間頃からとちらにか敗れる事と思ふがそれまで穩歇共に英氣を養ふて置くがよからう

籾出廻激增

[illegible]

仁川穀物出入 (八日)

[illegible]

◎商況◎

[illegible]

米界指針

[illegible]

海外經濟電報

[illegible]

鮮魚 (京城魚市場八日)

[illegible]

綿糸布

[illegible]

京城手形交換高 (八日)

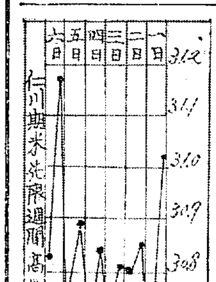
枚數 四、三〇九枚
金額 一、八一五、六三六圓

株式 (八日) 京取短期・算定と日歩・短期建玉表・東京現株・大阪短期・大阪長期・安取株式

[illegible]

期米 (八日) 仁川・各店倚合せ

[illegible]



各地天氣豫報

[illegible]

特殊蠶種飼育
慶北の新計畫

【大邱】慶北では蠶種技術統一[illegible]

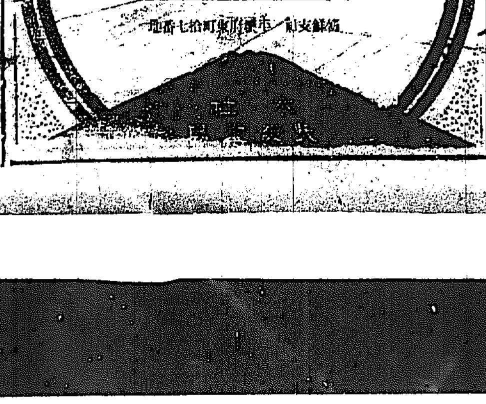
▲銀行取引停止處分

[illegible]

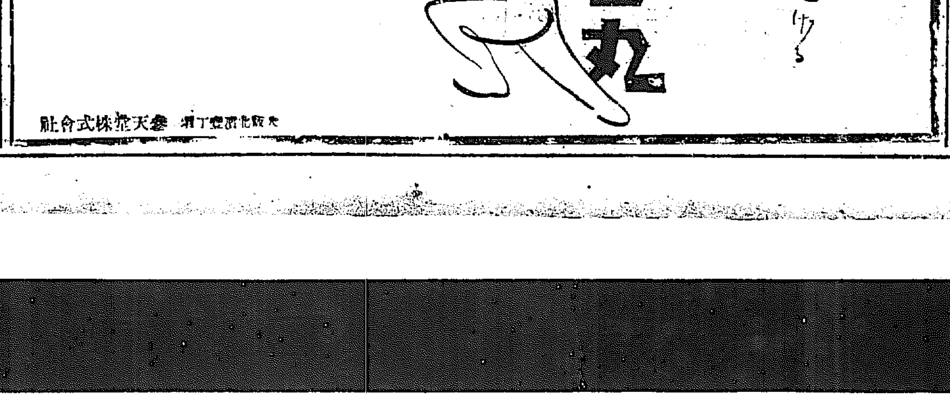
野菜 (南大門市場八日)

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 ㋑ 今村覺次郎 電話 長三三・三六八・三七


富士生命
社長 男爵 藤田平太郎
專務取締役 寺田四郎
朝鮮支部 京城府[illegible]町七拾七番地

エッキス光線耳鼻咽喉科增設
イケタ内小兒科病院 (兒童保健相談所)
京城[illegible]病院前へ入る 阪山町一丁目
院長 池田[illegible]
電話 (病室)二二三四 (自宅)[illegible]



大阪[illegible] 參天堂株式會社

慶尚南道第六回釀造品品評會
釜山開港五十週年紀念
名譽賞受領 銘酒 堀泉 釜山府 堀釀造場 主 原田竹次郎
最高優等賞受領 銘酒 佐壽賀 釜山府 竹鶴釀造場 主 竹鶴輝二
最高優等賞受領 銘酒 向陽 釜山府 福田釀造場 主 福田恒